

消 防 年 報

令 和 6 年 版

小千谷市消防本部

はじめに

小千谷地域の消防組織については、昭和54年4月1日に小千谷市及び川口町の1市1町で小千谷市川口町衛生消防組合として発足し、昭和63年4月1日山古志村の加入により小千谷地域広域事務組合の「小千谷地域消防本部・消防署」として広域消防に取り組んできました。

その後、平成17年に山古志村、平成22年に川口町が長岡市へ合併し、平成22年3月30日をもって小千谷地域広域事務組合は解散となり、31日から小千谷市が事務を引き継ぐとともに長岡市川口地域（旧川口町）の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。

この消防年報は、消防本部管内の消防概況及び令和6年中における消防業務に関する諸業務について収録することにより、消防行政を推進する資料として活用するとともに、広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めていただくために作成したものです。

本書により消防の現状をご理解いただくとともに、今後とも一層のご支援とご協力を賜れば幸いです。

なお、火災・救急・気象などについては、令和6年1月から12月までの1年間の統計ですが、予算、施設及び人員等は会計年度、消防現勢については令和7年4月1日現在としました。

目 次

総務関係

1	小千谷市消防の沿革	1
2	小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢	6
3	管轄区域の情勢	
	(1) 人口・世帯数	7
	(2) 面積・広ぼう	7
	(3) 市街地・準市街地等の状況	7
	(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合	8
4	消防庁舎の現況	8
5	小千谷市消防本部・署の機構	9
6	歴代消防長・署長	
	(1) 消防長	10
	(2) 署長	11
7	階級別消防職員状況	12
8	階級別消防職員年齢表	12
9	消防力の整備指針と現況	13
10	消防予算	
	(1) 一般会計に対する割合	14
	(2) 人口・世帯に対する割合	14
	(3) 令和7年度予算状況	15
	(4) 一般会計との比・人口世帯との比	15
11	消防財産	16
12	消防通信施設	
	(1) 通信指令施設	17
	(2) 無線設備	18
	(3) 非常用通信設備	22
	(4) 119回線による火災・救急等受信回数	23
13	気象観測	
	(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧	24
	(2) 気象統計	25

予防関係

1	防火対象物の現況、防火管理者選任状況	30
---	--------------------	----

2	建築同意事務処理状況	
(1)	過去5年間の処理状況	3 2
(2)	月別処理状況	3 2
(3)	用途地域別・構造等別	3 2
(4)	用途別・工事別	3 3
3	中高層建築物の現況	3 4
4	危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数	3 5
5	危険物製造所等の年間事務処理状況	3 6
6	試験・測定資器材	3 7
7	火災概要表	3 8
8	過去5年間の火災発生状況	4 1
9	過去5年間の月別火災発生状況	4 1

警防関係

1	火災・風水害等件数状況	4 2
2	消防水利	4 3
3	消防資機材装備状況	4 4
4	水防資材備蓄状況	4 4
5	消防車両一覧	4 5

救急救助関係

救急関係

1	事故種別出場状況	4 6
2	事故種別出場比率	4 7
3	地区別出場状況	4 8
4	時間別出場状況	4 9
5	曜日別出場状況	5 0
6	月別出場状況	5 1
7	現場到着所要時間別出場件数の状況	5 2
8	事故種別搬送人員收容所要時間状況	5 3
9	年齢区分別・傷病程度別・事故種別搬送人員数	5 4
1 0	過去5年間の事故種別出場状況	5 5
1 1	過去10年間の出場件数の推移	5 6
1 2	搬送人員別医療機関問合せ回数	5 6
1 3	転送回数別搬送人員・転送理由	5 6
1 4	熱中症件数	5 6
1 5	事故種別收容医療機関状況	5 7

1 6	ドクターヘリ要請状況	5 7
1 7	署所別出場状況	5 8
1 8	覚知別出場状況	5 8
1 9	搬送傷病者居住地状況	5 8
2 0	発生場所別搬送人員数	5 8
2 1	応急処置等実施状況	5 9
2 2	救急資器材	6 0
2 3	訓練用資器材	6 0

救助関係

2 4	事故種別、発生場所別救助出動状況	6 1
2 5	事故種別、発生場所別救助活動状況	6 1
2 6	事故種別、発生場所別救助人員状況	6 1
2 7	救助器具	6 2

消防団関係

1	消防団組織図	6 3
2	歴代消防団長	6 4
3	消防団の編成	6 5
4	消防団員の数	6 5
5	消防団員の階級別報酬	6 5
6	消防団員の出動報酬・費用弁償	6 5
7	消防車両・小型動力ポンプ配置一覧	6 6
8	消防団無線設備	6 7
9	消防器具置場等施設の数	6 9
1 0	令和6年度中の主な工事等の状況	6 9
1 1	消防団協力事業所数	6 9

協力団体

1	小千谷地域防火管理協会	7 0
2	新潟県危険物安全協会小千谷地区支会	7 1
3	小千谷市幼少年防火委員会	7 2
4	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会	7 4

總務關係

1 小千谷市消防の沿革

年	月	記	事
昭和	24年	8月	小千谷町役場職員による常備消防隊発足
	26年	1月	本町・町役場に隣接し消防庁舎完成
		10月	専任職員7名による常備消防本部を設立
	29年	3月	小千谷町、城川村、千田村の合併により小千谷市制施行
	32年	10月	消防無線が初めて導入される
	34年	8月	小千谷市消防本部・消防署の設立（16名）
	35年	6月	危険物安全協会北魚沼地区支会発足
	36年	5月	第12回新潟県消防大会開催
	40年	7月	小千谷市防火管理協会発足
		10月	既存庁舎が手狭となり、市民体育館下に仮移転する
	41年	7月	専用車による本格的な救急業務を開始
	44年	7月	総員36名となり、一応の増員計画を終了する
		11月	化学車配備
	45年	10月	第2回全国消防操法大会に小千谷市消防団が、「小型ポンプの部」に出場
	47年	3月	城内1丁目に消防庁舎完成
	49年	9月	2B型救急車配備、救急車2台となり救急体制が充実する
		10月	24m級はしご車配備
	50年	4月	職員が4名増員され、定員40名となる
	52年	11月	救助工作車配備
	53年	11月	通信指令装置導入
	54年	4月	消防業務が小千谷市川口町衛生消防組合として広域化され新体制で発足 (定員52名)
	55年	4月	川口出張所開設（定員11名）
	56年	4月	消防長が専任制となる
		10月	小千谷地域少年消防クラブ運営指導協議会発足
		12月	水槽付消防ポンプ自動車（3,000ℓ）配備
	57年	2月	小千谷市消防団が日本消防協会より「纏」を授賞
		3月	高速自動車国道関越自動車道（長岡インター～越後川口インター間）供用開始
		4月	高速救急隊設置により4名増員となる
		7月	小千谷地域少年婦人防火委員会発足
		12月	高速自動車国道関越自動車道（長岡インター～小出インター間）供用開始
	58年	8月	第34回新潟県消防大会開催(会場 小千谷小学校)
	59年	8月	2B型救急車(4WD)導入(日本赤十字社寄贈)

年・月	記 事
59年 9月	第1回消防フェスティバル開催
60年 11月	小千谷地域防火管理協会発足20周年記念、防火講演会の開催（サンプラザ）
62年 2月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新
10月	小千谷市川口町衛生消防組合消防庁舎、訓練塔を新築移転
昭和 63年 4月	第3回全国婦人消防操法大会において、「芋坂・時之島婦人消防隊」が優勝する 山古志村の加入により、小千谷地域広域事務組合と名称変更する（定員66名）
11月	山古志出張所開設（職員9名）
平成 元年 4月	職員4名増員され65名となる
2年 10月	第12回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「小型ポンプの部」に出場する
4年 4月	職員2名増員され67名となる
10月	第13回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「ポンプ車の部」に出場し、新潟県初の優良賞を受賞する
5年 3月	救助工作車Ⅱ型（伸縮式照明装置付）更新
4月	職員2名増員され69名となる
6年 4月	職員2名増員され71名となる
12月	川口出張所消防ポンプ自動車CD-I型更新
7年 10月	第11回全国婦人消防操法大会において「上ノ山婦人消防隊」が優良賞を受賞する
11月	小千谷地域防火管理協会設立30周年記念、防火講演会の開催（市民会館）
8年 3月	37m級はしご車更新
9月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型導入（日本損害保険協会寄贈）
11月	高規格救急車配備
12月	蒲原沢土石流災害新潟県応援派遣隊、第1次隊及び第5次隊として、それぞれ5名を派遣
9年 7月	山古志出張所救急車更新（日本赤十字社寄贈）
10月	消防ポンプ自動車CD-I型更新
10年 9月	小千谷市総合防災訓練実施
11年 7月	川口出張所高規格救急車配備
12年 8月	2B型救急車（4WD）導入（日本赤十字社寄贈）
14年 3月	川口出張所訓練塔更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（2か年）
6月	信濃川・魚野川水防演習参加（高梨地先）
15年 2月	消防本部融雪施設（さく井）工事

年・月	記 事
平成 15年 3月	消防緊急通信指令装置導入
9月	新潟県・小千谷市合同総合防災訓練実施
11月	高規格救急車（救急1号車）更新 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加(新潟市)
12月	地域省エネルギー普及促進事業による消防庁舎空調・照明工事
平成 16年 7月	7. 13水害が発生し、新潟県広域応援隊として、救助隊(ボート隊延べ16名)を中之島町へ、救急隊(延べ9名)を見附市及び三条市へ派遣 管内に7. 16水害が発生
8月	指令広報車（指令5号車）更新
10月	23日川口町を震源とする「新潟県中越大震災」が発生、新潟県広域応援隊及び緊急消防援助隊を受援
平成 17年 4月	山古志村が長岡市への合併に伴い組合を離脱、山古志出張所及び備品等に移管し職員8名が長岡市へ移籍（定員63名）
11月	携帯119番直接受信整備工事
平成 18年 2月	小千谷市消防団に司令車配備（日本消防協会寄贈）
6月	水槽付消防用自動二輪車（ミストドラゴン）2台配備（日本機械工業(株)寄贈）
11月	川口出張所訓練塔災害復旧工事
平成 19年 1月	消防庁舎車庫増築工事
2月	消防ポンプ自動車（災害対応型）配備
7月	新潟県中越沖地震発生、新潟県広域応援隊として消防隊(延べ25名)及び救急隊(延べ6名)を柏崎市へ派遣
9月	資機材運搬車（指令2号車）更新
平成 20年 9月	消防庁舎アスベスト除去工事
11月	本署救急車(救急2号車)更新（日本赤十字社寄贈）
平成 21年 2月	化学消防ポンプ自動車(化学1号車)更新
平成 22年 3月	川口町と長岡市の合併に伴い、小千谷地域広域事務組合を解散 小千谷市消防本部・消防署に組織及び名称変更 長岡市川口地域の消防事務を受託
9月	消防緊急通信指令装置改修工事
12月	救助工作車Ⅱ型更新
平成 23年 3月	11日宮城県沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生 緊急消防援助隊として消火部隊(延べ55名)及び後方支援部隊(延べ20名)を宮城県石巻市へ派遣

年・月	記 事
平成 23年 7月	新潟・福島豪雨が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（ボート隊延べ5名）を三条市へ派遣 小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎照明設備改修工事（LED照明入替）
平成 24年 1月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
2月	高規格救急車（川口救急1号車）更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（3か年）
5月	南魚沼市トンネル事故が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（延べ15名）を南魚沼市へ派遣
9月	小千谷市総合防災訓練実施 位置情報通知システム（統合型）設置
12月	消防ポンプ自動車（川口ポンプ1号車）更新 本部消雪井戸改修工事
平成 25年 1月	小千谷市豪雪警戒本部設置
2月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
6月	消防庁舎空調メンテナンス工事
12月	川口出張所浴室等改修工事
平成 26年 3月	消防救急デジタル無線設備設置
4月	消防救急デジタル無線運用開始
7月	第65回新潟県消防大会開催（小千谷大会）
10月	高規格救急車（小千谷救急2号車）更新
平成 27年 7月	川口出張所指令広報車更新
9月	関東東北豪雨が発生し、緊急消防援助隊として消火隊5名を茨城県常総市へ派遣 気象観測装置更新（元中子）
10月	川口出張所ロータリー除雪機更新
11月	塩谷気象観測装置を新潟大学から譲受
12月	消防ポンプ自動車（小千谷ポンプ1号車）更新
平成 28年 7月	消防庁舎南面外壁タイル改修工事 消防庁舎高圧受電設備改修工事
8月	多目的車（指令1号車）更新 防火指導車（指令3号車）更新
12月	糸魚川大規模火災が発生し、新潟県広域応援隊として消火隊（延べ10名）を糸魚川市へ派遣
平成 29年 1月	特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（タンク1号車）更新
7月	小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎東面外壁タイル改修工事

年・月	記 事
平成 30年	2月 小千谷市豪雪災害対策本部設置
	3月 災害時及び火災発生時の応援業務に関する協定締結（魚沼地区生コンクリート協同組合）
	9月 消防庁舎北面外壁タイル改修工事
	9月 消防庁舎玄関庇漏水修繕工事
平成 31年	3月 はしご付消防ポンプ自動車更新
	4月 女性消防職員1名採用
令和 元年	8月 女性消防職員仮眠室等整備工事
	9月 防火広報車（指令5号車）更新
	9月 防火衣一式更新（2か年計画）
	10月 大型台風19号の影響により10月13日（10:20）信濃川水位が観測史上最高の50.19mを記録し、小千谷市は災害対策本部を設置し警戒にあたる。
	10月 無人航空機（ドローン）運用開始
	12月 高規格救急車（救急2号車）更新
	12月 高度救命処置用資機材更新
令和 2年	4月 新潟県消防学校へ1名派遣（2か年）
	4月 退職者を再任用職員として1名採用
	4月 タブレット端末を救急車に積載し、ICT活用した傷病者の情報収集を開始
	11月 新型コロナウイルス感染症対策として仮眠室ベッドにパネル及びカーテンを設置
令和 3年	2月 気象観測装置更新（塩谷）
	7月 小千谷市防災公園竣工
	11月 消防緊急通信指令システム更新（情報系）
令和 4年	7月 NET119運用開始（県内17消防本部）
	7月 トイレ・シャワー室改修工事
	11月 気象観測装置設置（池ヶ原）
	11月 消防庁舎空調設備更新
令和 5年	4月 職員定数68名となる
	4月 消防団員年額報酬の引き上げ及び出動報酬の創設
	11月 高規格救急車（川口救急1号車）更新
令和 6年	1月 能登半島地震が発生し、緊急消防援助隊として消防隊、後方支援隊（延べ18名）を石川県へ派遣
	2月 消防本部仮眠室棟増築工事竣工
	4月 小千谷市公式LINE消防出動情報配信開始
	4月 新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（3か年）
令和 7年	2月 消防ポンプ自動車（小千谷ポンプ2号車）更新
	2月 山本山無線基地局FWA多重無線装置修繕工事
	2月 岩手県大船渡市林野火災が発生し、緊急消防援助隊として消防隊（延べ16名）を派遣

2 小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢

当消防本部は、新潟県の中央部やや南に位置し、管轄区域は、小千谷市及び長岡市川口地域（旧川口町：長岡市から消防事務を受託）です。



	方位	経緯度
東経	極東	138度 54分
	極西	138度 43分
北緯	極北	37度 23分
	極南	37度 10分

3 管轄区域の情勢

(1) 人口・世帯数

令和7.4.1 現在

地域区分	令和2年10月国勢調査		令和7年3月末住民基本台帳	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
小千谷市	34,096	12,113	32,357	13,002
長岡市川口地域	4,087	1,336	3,711	1,448
合 計	38,183	13,449	36,068	14,450

地域区分	令和7年3月末現在人口		
	人 口	日本人	外国人
小千谷市	32,357	31,889	468
長岡市川口地域	3,711	3,696	15
合 計	36,068	35,585	483

(2) 面積・広ぼう

令和7.4.1 現在

地域区分	面積 (k m ²)	広 ば ろ う (km)		周囲 (km)	標 高 (m)	
		東 西	南 北		最 高	最 低
小千谷市	155.19	17.21	20.01	86.1	581.0	27
長岡市川口地域	50.03	4.10	15.00	49.0	433.5	50
合 計	205.22	—	—	—	—	—

(3) 市街地・準市街地等の状況

地域区分	市 街 地 域 数	準 市 街 地 地 域 数			その他の地域数 (有・無)
		5,000人以上 10,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	1,000人以上 3,000人未満	
小千谷市	1	1	1	3	有
長岡市川口地域	—	—	—	2	有
合 計	1	1	1	5	

※ 令和4年度消防力の整備指針に基づく市町村消防施設整備計画実態調査の数値

(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合

令和7.4.1 現在

区 分	消防職員1名当り			消防ポンプ自動車1台当り		
	人 口	世 帯 数	面 積	人 口	世 帯 数	面 積
	人	世帯	k m ²	人	世帯	k m ²
	564	226	3.2	7,214	2,890	41.0
職員・ポンプ車数	64名			5台		

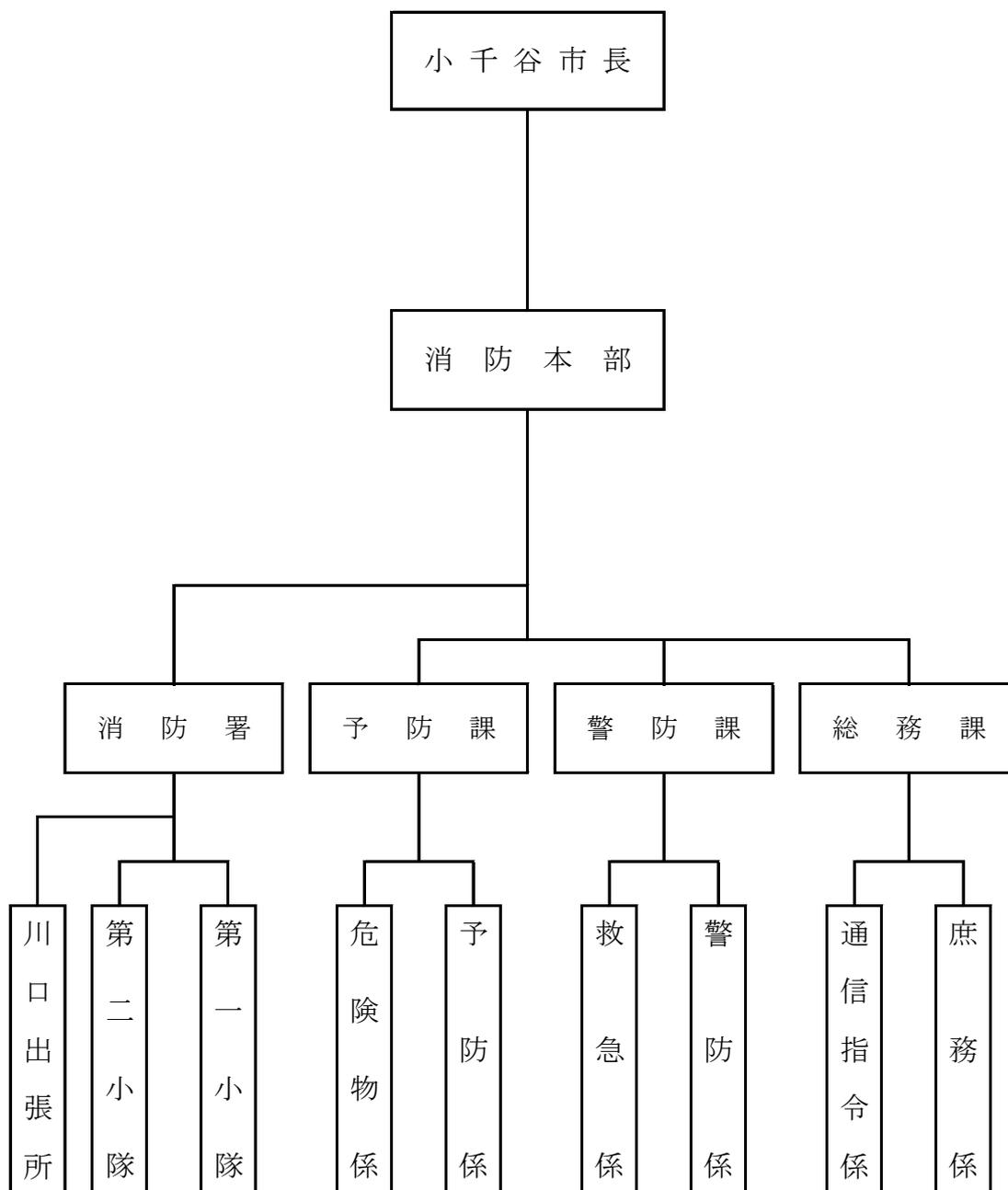
人口、世帯数は小数点以下四捨五入
面積は小数点第2位以下四捨五入

4 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	設置年月日	面 積 (m ²)		
				敷 地	建 築	延
消防本部 消 防 署	小千谷市城内 3丁目1番9号	鉄筋 3階建 コン クリ ート	昭和62年 10月 1日	3,701.21	960.08	2,045.61
川口出張所 (長岡市貸与)	長岡市 川口牛ヶ島 160番地3	鉄筋 2階建 コン クリ ート	昭和55年 4月 1日	662.00	96.00	194.76

5 小千谷市消防本部・署の機構

令和7.4.1 現在



6 歴代消防長・署長

(1) 消防長

令和7.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考
消防長	初位 下松五郎	S 29. 3. 10 ~ S 30. 4. 12	市長兼務
	2 位 下松五郎	S 30. 5. 1 ~ S 34. 4. 20	〃
	3 佐藤 武	S 34. 5. 1 ~ S 38. 4. 29	〃
	4 佐藤 武	S 38. 4. 30 ~ S 42. 4. 29	〃
	5 佐藤 武	S 42. 4. 30 ~ S 46. 4. 29	〃
	6 佐藤 武	S 46. 4. 30 ~ S 50. 4. 29	〃
	7 星野 行男	S 50. 4. 30 ~ S 54. 4. 29	〃
	8 星野 行男	S 54. 4. 30 ~ S 56. 3. 31	〃
	9 若井 保	S 56. 4. 1 ~ S 60. 3. 31	
	10 石坂 和男	S 60. 4. 1 ~ S 61. 12. 31	
	11 風間 久司	S 62. 1. 1 ~ S 62. 4. 30	(消防長心得)
	12 羽鳥 昌治	S 62. 5. 1 ~ H 2. 3. 31	
	13 山口 恒	H 2. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	
	14 風間 久司	H 4. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	15 本田 晃一	H 11. 4. 1 ~ H 13. 3. 31	
	16 金箱 貞夫	H 13. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	17 中村 繁一	H 15. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	18 横山 貴吉	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	19 風間 隆一	H 20. 4. 1 ~ H 21. 3. 31	
	20 瀬沼 賢一	H 21. 4. 1 ~ H 24. 3. 31	
	21 大塚 幸夫	H 24. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	22 安藤 高志	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	23 瀬沼 務	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	24 和田 孝史	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	25 渡邊 秀樹	H 30. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	
	26 村山 博	R 4. 4. 1 ~ R 7. 3. 31	
	27 有馬 哲也	R 7. 4. 1 ~ R 現在に至る	

(2) 署長

令和7.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
署長	初	山崎留吉	S 34. 8. 1 ~ S 35. 3. 31	
	2	平沢恭栄	S 35. 4. 1 ~ S 40. 9. 30	
	3	和田耕作	S 40. 10. 1 ~ S 48. 3. 31	
	4	岡 忠	S 48. 4. 1 ~ S 51. 3. 31	
	5	和田明	S 51. 4. 1 ~ S 56. 3. 31	
	6	若井保	S 56. 4. 1 ~ S 58. 6. 30	
	7	風間久司	S 58. 7. 1 ~ H 2. 3. 31	
	8	本田晃一	H 2. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	9	西脇英郎	H 11. 4. 1 ~ H 16. 3. 31	
	10	篠田敏治	H 16. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	11	風間隆一	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	12	安藤高志	H 20. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	13	瀬沼務	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	14	和田孝史	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	15	渡邊秀樹	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	16	内山康司	H 30. 4. 1 ~ H 31. 3. 31	
	17	村山博	H 31. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	
	18	佐藤一豊	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	
	19	有馬哲也	R 5. 4. 1 ~ R 7. 3. 31	
	20	岩淵義明	R 7. 4. 1 ~ 現在に至る	

7 階級別消防職員状況

令和7.4.1 現在
(条例定数 68 人)

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	合計
消防本部(署)	1	6	22	5	10	9	53
川口出張所		1	5	1	3	1	11
合計	1	7	27	6	13	10	64

8 階級別消防職員年齢表

令和7.4.1 現在

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	合計
20才以下						2	2
21～25才						8	8
26～30才					10		10
31～35才				4	3		7
36～40才			5	1			6
41～45才			9				9
46～50才			6				6
51～55才		6	7				13
56才以上	1	1		1			3
計	1	7	27	6	13	10	64
平均年齢	56.0	54.4	45.7	38.3	28.3	22.9	40.8

(少数点第2位以下四捨五入)

9 消防力の整備指針と現況

基準日：令和4.4.1

車両区分及び適用条項	隊員	国 基準台数 (台)	市 基準台数 (台)	現有台数 (台)	市 基準人員 (人)	現有人員 (人)
消防ポンプ自動車 (第5条)	消防隊員 (第27条)	2	2 ※1参照	2 ※1参照	30	17
消防ポンプ自動車 (第5条 第5項)			1	1	12	10
はしご自動車 (第7条)		1	1	1	消防隊員 乗換運用	
化学消防車 (第8条)		2	1 ※1参照	1 ※1参照		
救急自動車 (第13条)	救急隊員 (第28条)	3	3	3	9	9
救助工作車 (第14条)	救助隊員 (第29条)	1	1	1	15	8
指揮車 (第15条)	指揮隊員 (第30条)	1	1	1	9	4
特殊車等 (第16条)	消防隊員 (第27条)		3	3	消防隊員 救助隊員 乗換運用	
非常用消防ポンプ自動車 (第17条 第1項)	/		1	1		
非常用救急自動車 (第17条 第2項)		1	1	1		
非常用消防用自動車等 (第17条 第3項)			1	1		
通信員 (第31条)	/				6	6
予防要員 (第32条)					6	3
庶務の処理等の人員 (第34条)					6	6
合 計		11	16	16	93	63

※1 消防ポンプ自動車2台のうち1台に泡放出装置装備車を配備し、化学消防車「国基準台数2台」から不足している当市現状（市基準台数及び現有台数1台）を補完する。

※ 令和4年度消防施設整備計画実態調査算定による。

10 消防予算

(1) 一般会計に対する割合

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
30	17,145,175	927,808 (125,255)	5.4	738,905 (125,255)	58,610	47,101	276	82,914
R1	17,720,543	786,766 (132,077)	4.4	575,165 (132,077)	58,227	46,040	1,671	105,662
R2	22,020,563	974,702 (120,472)	4.4	522,200 (120,472)	49,543	59,468	192	343,300
R3	18,893,591	809,558 (110,364)	4.3	574,136 (110,364)	50,535	25,105	346	159,438
R4	19,062,704	754,536 (95,522)	4.0	557,013 (95,522)	49,331	31,060	306	116,827
R5	21,475,176	1,068,588 (102,344)	5.0	841,018 (102,344)	63,317	33,380	662	130,213

※ () 内の数値は長岡市からの委託費。

(2) 人口・世帯に対する割合

年度別	消 防 費 決算額(千円)※	人 口 に 対 す る 割 合		世 帯 に 対 す る 割 合	
		人口(人)	1人当り(円)	世帯数	1世帯当り(円)
30	802,553	35,955	22,321	12,744	62,974
R1	654,689	35,507	18,438	12,706	51,525
R2	854,230	34,883	24,488	12,679	67,374
R3	699,194	34,318	20,374	12,635	55,338
R4	659,014	33,934	19,420	12,740	51,728
R5	966,244	33,457	28,880	12,899	74,908

※ 長岡市からの委託費を除く。

(3) 令和7年度予算状況

(単位：千円)

市 区分	消 防 費					
	合 計	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
小千谷市 (川口地域)	2,428,256	646,301 (99,799)	67,588	37,283	1,976	1,675,108

※ () 内の数値は、長岡市からの委託費。

(4) 一般会計との比・人口世帯との比

市 区分	令和7年度当初予算			消防費予算額の 人口に対する割合		消防費予算額の 世帯に対する割合	
	一般会計 (千円)	消防費 (千円) ※	比率 (%)	人 口 (人)	1人当り (円)	世帯数	1世帯当り (円)
小千谷市	25,480,000	2,328,457	9.1	32,357	71,961	13,002	179,085

※ 長岡市からの委託費を除く。

注 消防予算の表中、常備消防費、比率、人口、世帯に対する割合については、次のように表してあります。

- ・一般会計に対する消防費の比率は、少数点第2位以下四捨五入
- ・人口、世帯数に対する消防費の割合は、少数点以下四捨五入

1 1 消防財産

令和7.4.1 現在

区分	名 称	数 量	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防ポンプ自動車	3 台	
	はしご付消防自動車	1 台	
	化学消防自動車	1 台	
	水槽付消防ポンプ自動車	1 台	
	救助工作車	1 台	
	高規格救急自動車	3 台	
	高度救命処置用機材	3 式	
	多目的車	1 台	
	資器材運搬車	1 台	
	防火指導車	1 台	
	防火広報車	1 台	
	指令広報車	1 台	
	非常用救急自動車	1 台	
	救命ボート	1 隻	
	小型除雪車	1 台	
	消防救急デジタル無線装置	1 式	
	位置情報通知システム（統合型）	1 式	
	消防緊急通信指令システム	1 式	
	消防情報支援システム	1 式	
	気象観測装置	3 式	元中子、塩谷、池ヶ原設置
雨量観測計（5台分）	1 式		
高度救命処置訓練人形	1 体		
空気ボンベ充填高圧コンプレッサー	1 式		
消 防 団	消防ポンプ自動車	5 台	
	積載車	3 4 台	
	司令車	1 台	
	指揮広報車	1 台	
	水出し操法用小型動力ポンプ	1 台	
	小型動力ポンプ	1 台	

※ 1件100万円以上の物品及び車両

1 2 消防通信施設

(1) 通信指令施設

令和7.4.1 現在

装置の名称	装置の機能		
		容量	実装
指令台 消防緊急通信指令システム 富士通ゼネラル	119番受付回線	9	4
	指令回線	4	1
	局線回線	16	3
	専用回線		6
	内線回線		2
	自動順次指令装置	5	5
	自動案内装置 (テレフォンガイド)	災害出動に伴う内容を音声によって案内するサービス。 TEL 83-3030	5
情報収集装置	119回線の着信応答時、録音開始時刻を記録するとともに通話音声を自動録音する。(デジタル録音媒体) 主録音装置 (1台) TAKACOM VR-464		
非常用指令設備	指令電話装置の中核機能障害時、指令台に代わって119番の受信及び個別指令ができる機能を有する。		
位置情報通知システム	NTT固定電話・IP電話及び携帯電話等から119番通報時の発信位置情報が通知され、位置を指令装置地図上に表示する。		
メール119通報	聴覚・言語障がい者が、電子メールで119番通報できるシステム。登録者：9名		
NET119通報	通話が難しい聴覚・言語障がい者が、スマートフォンなどの画面操作で119番通報できるシステム。登録者：15名		

※ 装置の機能（容量、実装）欄について、令和3年度の指令台更新に伴い指令装置現状の容量及び実装数を表示しています。

(2) 無線設備

☆ デジタル無線 (基地局・固定局)

令和7.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	活動波1 (市波) 活動波2 (団波) 活動波3 (救急波) 主運用波 統制波1
おぢやしょうぼうやまもとやま	1	山本山	統制波2 統制波3

☆ アナログ無線 (基地局)

令和7.4.1現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	防災相互波

※ 機器の老朽化、交換部品の調達が困難なことからアナログ無線 (移動局) 3台を廃止。

☆ デジタル無線陸上移動局

令和7.4.1 現在

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配置場所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
おぢやたんく 1	○	○	○	○	○	○	○		タンク車	10	H25
おぢやぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ1号車	10	H25
おぢやぼんぷ 2	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ2号車	10	H25
おぢやかagak 1	○	○	○	○	○	○	○		化学車	10	H25
おぢやきゅうじょ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救助工作車	10	H25
おぢやはしご 1	○	○	○	○	○	○	○		梯子車	10	H25
おぢやきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救急1号車	10	H25
おぢやきゅうきゅう 2	○	○	○	○	○	○	○	○	救急2号車	10	H25
おぢやしれい 1	○	○	○	○	○	○	○		指令1号車 (多目的車)	10	H25
おぢやしれい 2	○	○	○	○	○	○	○		指令2号車 (資機材運搬車)	10	H25
おぢやしれい 3	○	○	○	○	○	○	○		指令3号車 (防火指導車)	10	H25
おぢやしれい 5	○	○	○	○	○	○	○	○	指令5号車 (指揮車)	10	H25
おぢやたんく 11	○	○	○	○	○	○	○		タンク車線 携帯無	5	H25
おぢやたんく 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 11	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ1号車線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 21	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ2号車線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 22	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやかagak 11	○	○	○	○	○	○	○		化学車線 携帯無	5	H25

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配 置 場 所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
おぢやかがく 12	○	○	○	○	○	○	○		筒 先 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやきゅうじょ 11	○	○	○	○	○	○	○		救 助 工 作 車 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやはしご 11	○	○	○	○	○	○	○		梯 子 車 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやきゅうきゅう 11	○	○	○	○	○	○	○		救 急 1 号 車 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやきゅうきゅう 21	○	○	○	○	○	○	○		救 急 2 号 車 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 10	○	○	○	○	○	○	○		署 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 11	○	○	○	○	○	○	○		副 署 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 12	○	○	○	○	○	○	○		予 防 課 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 13	○	○	○	○	○	○	○		総 務 課 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 14	○	○	○	○	○	○	○		小 隊 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 15	○	○	○	○	○	○	○		副 小 隊 長 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 16	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 17	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 18	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 19	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 20	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 21	○	○	○	○	○	○	○		緊 援 隊 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしれい 22	○	○	○	○	○	○	○		緊 援 隊 用 携 帯 無 線	5	H 2 5
おぢやしき 1	○	○	○	○	○	○	○	○	現 場 指 揮 本 部 (可搬型無線)	10	H 2 5
おぢやしき 2	○	○	○	○	○	○	○	○	現 場 指 揮 本 部 (可搬型無線)	10	H 2 5
かわぐちしょうぼう 900	○	○	○	○	○	○	○		川 口 出 張 所 固 定 移 動 局	10	H 2 5

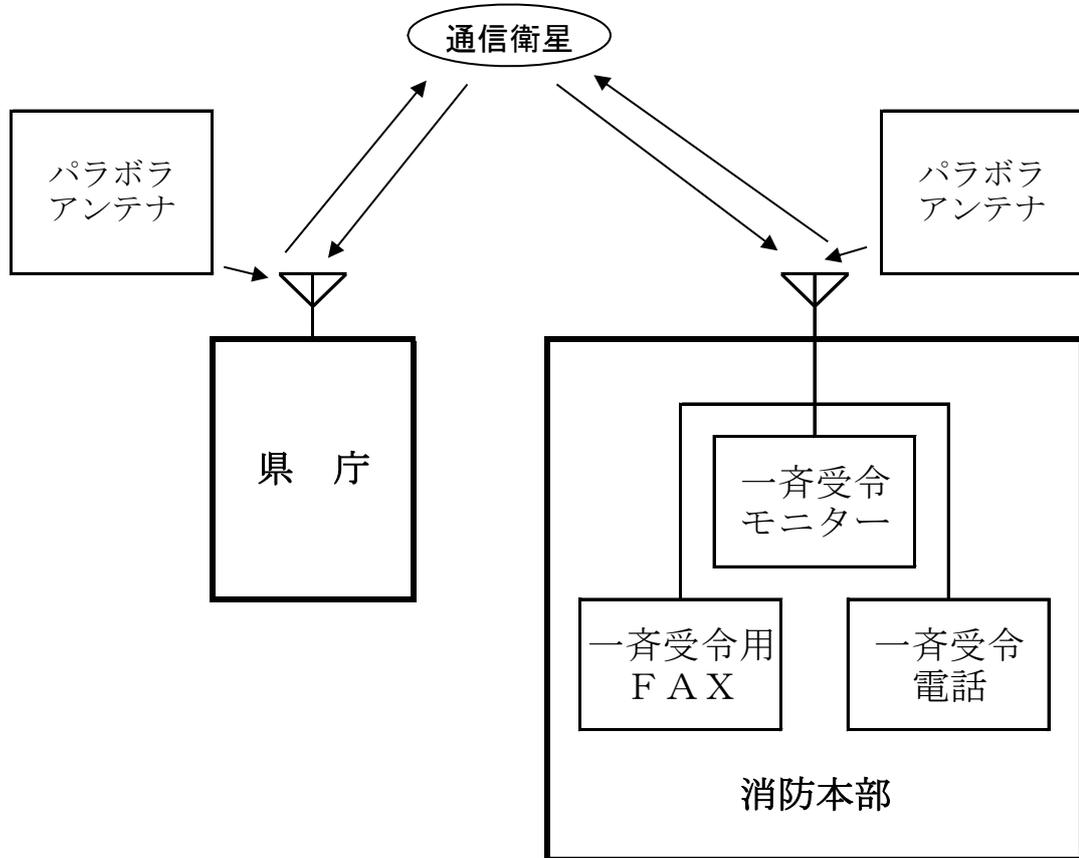
呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配置場所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
かわぐちぼんぷ	1	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車	10	H25
かわぐちきゅうきゅう	1	○	○	○	○	○	○	○	川口救急車	10	H25
かわぐちしれい	1	○	○	○	○	○	○	○	川口指令車	10	H25
かわぐちぼんぷ	11	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車 携帯無線	5	H25
かわぐちぼんぷ	12	○	○	○	○	○	○		筒先用 携帯無線	5	H25
かわぐちきゅうきゅう	11	○	○	○	○	○	○		川口救急車 携帯無線	5	H25
かわぐちしれい	11	○	○	○	○	○	○		川口出張所長用 携帯無線	5	H25
かわぐちしれい	12	○	○	○	○	○	○		川口指令車 携帯無線	5	H25

車載無線機	10W	15台
現場指揮簡易基地局	10W	2台
固定移動局	10W	1台
携帯無線機	5W	30台

(3) 非常用通信設備

- 災害時優先電話 11回線
 - ・ 固定電話回線 6回線
 - ・ 携帯電話回線 5回線

- 防災行政無線 (V S A T) 3点セット
 - ・ パラボラアンテナ
 - ・ 一斉受令用F A X
 - ・ 一斉受令電話



(4) 119回線による火災・救急等受信回数(IP電話及びFAX含む。)

令和6.1.1~令和6.12.31

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災					4	1		1			1		7
救急	77	67	91	67	85	71	54	74	71	69	83	91	900
救助				2			1		1	1			5
その他の災害 (警戒含む)			1					1	1		1		4
いたずら・嘘								1			1		2
間違い		2	4	2	1		1	2	3	6		2	23
機器誤発報	3		1										4
通報訓練	8	22	24	15	14	25	14	15	27	69	25	12	270
企業試験	9	3	12	18	14	13	8	13	10	19	11	12	142
無言電話													0
各種問合せ	9	2	3	8	2	5	1	13	2	2	4	4	55
その他	13	9	18	3	1	2	2	6	8	5	3	7	77
転送	火災												0
	救急												0
	救助												0
	その他の災害								1				1
合計	119	105	154	115	121	117	81	126	123	171	129	128	1,489

前年(前年比) 1,475(14)

☆ 携帯119番専用回線受信状況

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災	1			2	5		1	1	1	1			12	
救急	68	57	41	48	44	42	71	71	79	55	58	55	689	
救助			2	5				3	2				12	
その他の災害 (警戒含む)	1	2			1					1		1	6	
いたずら・嘘						1			1				2	
間違い	6	6	9	4	7	8	7	13	14	3	5	5	87	
機器誤発報													0	
通報訓練	3	5	2	5	5	10	3	1	12	9	13	7	75	
企業試験								2	3		3		8	
無言電話													0	
各種問合せ	7	7	5	7	3	6	5	7	7	2	2	3	61	
その他	6	4	11	10	6	6	12	6	29	9	7	23	129	
転送	火災												0	
	救急	4	6	1	4	5	3	3	8	2	5	1	3	45
	救助												0	
	その他の災害				2									2
合計	92	81	70	81	71	73	99	104	148	80	88	94	1081	

前年(前年比) 1,051(30)

※転送は転送先消防本部で数値計上するため合計件数に入れず、参考値として上げています。

13 気象観測

(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧（新潟地方気象台発表）

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	大雨						1	1	2		1	2	7
	洪水							1					1
	暴風												0
	暴風雪												0
	大雪	1											1
合 計	1	0	0	0	0	0	1	2	2	0	1	2	9

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注 意 報	雷	9	5	9	2	1	9	11	13	9	8	6	8	90
	霜			4	6	1					6		17	
	低温						1						1	
	強風				1						1		2	
	乾燥			2	2	3							7	
	濃霧	11	6	6	5	1	3	2		1	10	11	3	59
	大雨	1			1	1	1	10	2	3	1	3	6	29
	洪水					1		3	2	4				10
	大雪	5	1	3									5	14
	なだれ	4	4	5									1	14
	融雪		2	2	3									7
	着雪	4	1	3									5	13
	着氷													0
風雪													0	
合 計	34	19	34	20	8	14	26	17	17	19	27	28	263	

※ 警報及び注意報の種別にあつては、当市が内陸部に位置することから波浪及び高潮を省略しています。

(2) 気象統計

☆ 月別気象観測統計

観測地：元中子／令和6.1.1～令和6.12.31

	気温(°C)			湿度(%)		風速(m/s)		気圧(hPa)		実効湿度(%)			雨量(mm)	
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最大	現地	海面	平均	最高	最低	総量	日最高
1月	1.7	10.6	-4.0	85.3	41.8	3.0	19.1	1011.2	1019.1	85.7	89.5	80.4	293.0	33.0
2月	2.8	18.5	-3.2	81.3	25.1	2.5	15.3	1015.0	1022.8	81.7	88.9	71.3	108.0	23.0
3月	4.3	16.9	-4.2	79.0	22.5	2.9	20.3	1007.8	1015.6	78.6	87.1	68.0	227.0	35.5
4月	13.8	30.6	2.9	69.8	13.2	2.8	13.5	1007.1	1014.6	69.7	75.3	60.6	85.0	44.0
5月	16.7	30.4	4.3	72.5	11.3	2.8	17.2	1005.9	1013.3	72.1	78.7	63.4	96.0	43.5
6月	21.8	34.7	11.6	75.0	21.4	2.5	11.3	1001.6	1008.9	74.5	81.8	66.4	66.5	33.0
7月	25.9	35.3	20.3	84.7	42.5	2.2	16.8	1001.4	1008.5	84.3	89.0	80.0	255.5	36.5
8月	27.2	36.7	21.9	83.1	43.6	2.2	10.6	1000.2	1007.3	82.7	85.7	79.0	103.5	64.5
9月	24.5	35.9	14.5	84.5	38.4	2.1	12.1	1005.5	1012.8	84.6	92.2	80.1	197.5	76.0
10月	17.5	29.6	5.3	84.4	31.3	2.4	15.7	1011.3	1018.8	83.7	90.3	75.5	132.5	23.0
11月	10.1	23.6	0.7	85.0	41.2	2.5	16.2	1011.6	1019.3	84.7	88.6	79.4	262.5	53.5
12月	2.7	15.2	-1.3	89.7	44.9	2.6	22.1	1008.3	1016.1	89.5	93.1	83.9	530.0	56.5

※ 気象データは、元中子（小千谷市防災公園）に設置してある自動気象観測装置から消防本部へデータ転送されている。

☆ 月別天候・雪量集計

観測地：消防本部／令和6.1.1～令和6.12.31

	天 候					雪 量 (cm)		
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	総降雪	最高降雪	最高積雪
1月	4	49	162	66	91	133	21	47
2月	11	59	184	62	32	38	18	31
3月		48	191	79	54	76	20	20
4月	4	131	184	41				
5月	10	148	156	58				
6月	4	168	157	31				
7月		50	252	70				
8月		123	232	17				
9月		81	228	51				
10月	5	86	216	65				
11月		86	161	113				
12月		12	143	127	90	99	21	41
合 計	38	1,041	2,266	780	267			

※ 天候観測は、2時間毎に観測。(1日12回)

※ 天候の雪には、あられ・みぞれを含む。

※ 雪量は、午前9時に観測。(1日1回)

☆ 降積雪深観測集計

令和6年初雪～令和7年雪消

観測所名	降雪深合計	最大降雪深	最大積雪深	根雪			最大降雪深 全観測所平均	最大積雪深 全観測所平均	
				初日	終日	根雪期間			
県指定観測所 ※1	元中子 (小千谷市防災公園)	-	-	2月24日 212cm	12月7日	3月31日	115日	56.9cm ※元中子 池ヶ原 塩谷 を除く	253.6cm
	池ヶ原 (旧池ヶ原小学校)	-	-	2月24日 280cm	12月7日	4月17日	132日		
	塩谷 (旧塩谷小学校)	-	-	2月24日 370cm	12月7日	5月3日	148日		
小栗山 (東山小学校) ※2	707cm	2月5日 65cm	2月25日 245cm	12月12日	4月11日	121日			
川井 (川井新田)	837cm	2月5日 56cm	2月24日 270cm	12月7日	4月18日	133日			
岩沢 (市ノ口) ※2	675cm	2月5日 62cm	2月25日 267cm	12月7日	4月21日	136日			
真人南部 (中山)	1,067cm	2月5日 63cm	2月24日 316cm	12月7日	4月22日	137日			
真人北部 (市之沢)	1,280cm	12月28日 70cm	2月24日 350cm	12月7日	4月25日	140日			
片貝 (片貝中学校) ※2	467cm	2月6日 42cm	2月25日 165cm	12月22日	3月24日	93日			
千谷 (千田中学校) ※2	481cm	2月7日 50cm	2月25日 150cm	12月22日	3月25日	94日			
消防本部	633cm	2月5日 47cm	2月24日 165cm	12月22日	3月23日	92日			

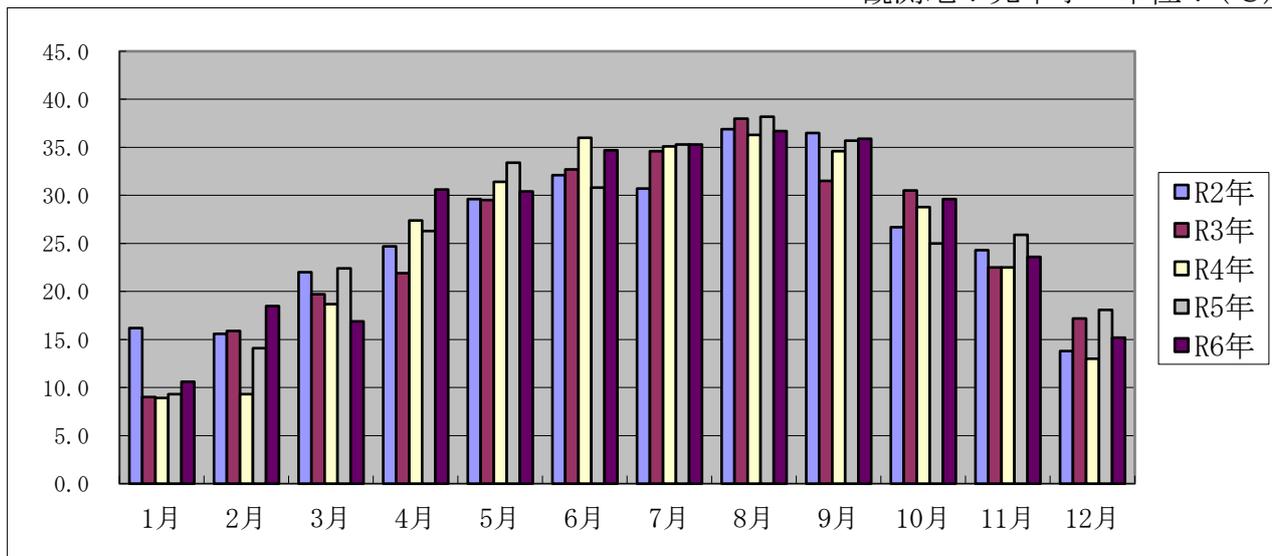
※1 自動観測装置による観測のため降雪深及び最大降雪深については、観測不可能。

※2 各学校及び岩沢観測所については、休校日、土日祝日は観測を実施していない。

※ 根雪とは、観測点における積雪が30日以上継続した状態のことをいう。
ただし、積雪が10日以上継続した場合、5日以内の無積雪期間があっても、次の10日以上に亘って積雪が継続した場合は、積雪が継続しているものと見なす。(引用元：気象庁)

☆ 過去5年間1月～12月の最高気温調べ

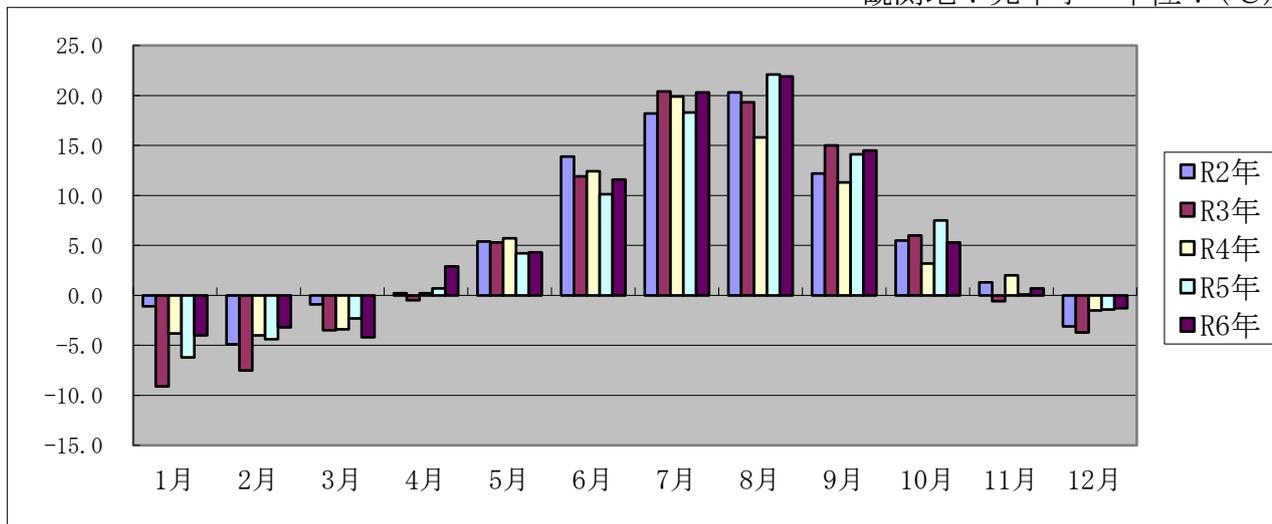
観測地：元中子 単位：(°C)



年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R2年	16.2	15.6	22.0	24.7	29.6	32.1	30.7	36.9	36.5	26.7	24.3	13.8
R3年	9.0	15.9	19.7	21.9	29.5	32.7	34.6	38.0	31.5	30.5	22.5	17.2
R4年	8.9	9.3	18.7	27.4	31.4	36.0	35.1	36.3	34.6	28.8	22.5	13.0
R5年	9.3	14.1	22.4	26.3	33.4	30.8	35.3	38.2	35.7	25.0	25.9	18.1
R6年	10.6	18.5	16.9	30.6	30.4	34.7	35.3	36.7	35.9	29.6	23.6	15.2

☆ 過去5年間1月～12月の最低気温調べ

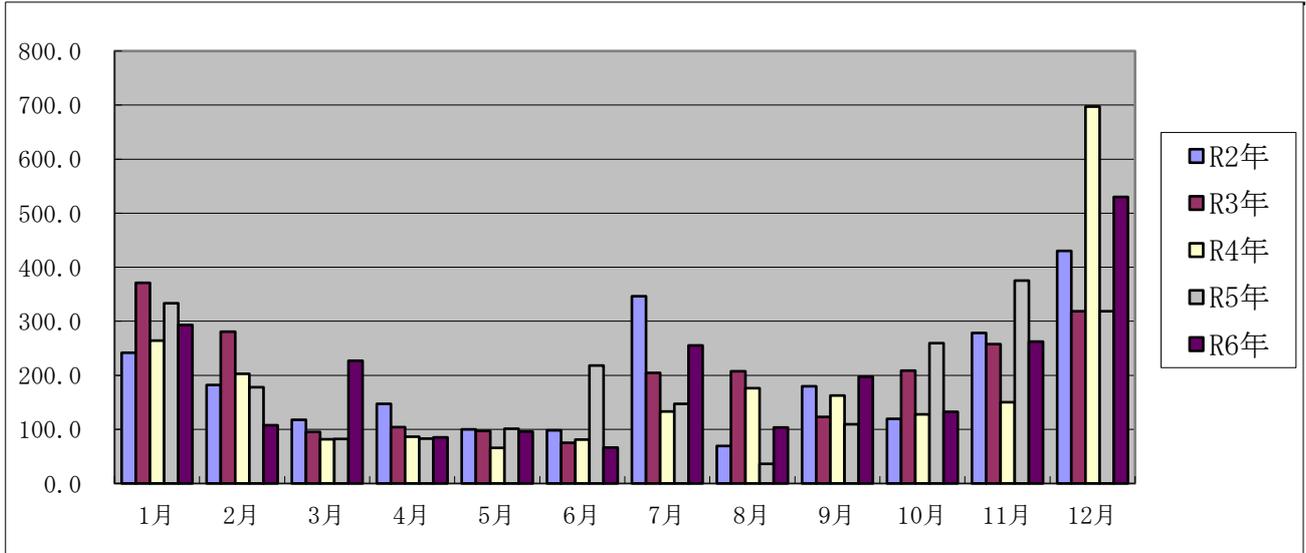
観測地：元中子 単位：(°C)



年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R2年	-1.1	-4.9	-0.9	0.2	5.4	13.9	18.2	20.3	12.2	5.5	1.3	-3.1
R3年	-9.1	-7.5	-3.5	-0.5	5.3	11.9	20.4	19.3	15.0	6.0	-0.6	-3.7
R4年	-3.8	-4.0	-3.4	0.2	5.7	12.4	19.9	15.8	11.3	3.2	2.0	-1.5
R5年	-6.2	-4.4	-2.3	0.7	4.2	10.1	18.3	22.1	14.1	7.5	0.1	-1.4
R6年	-4.0	-3.2	-4.2	2.9	4.3	11.6	20.3	21.9	14.5	5.3	0.7	-1.3

☆ 過去5年間1月～12月の降雨量調べ

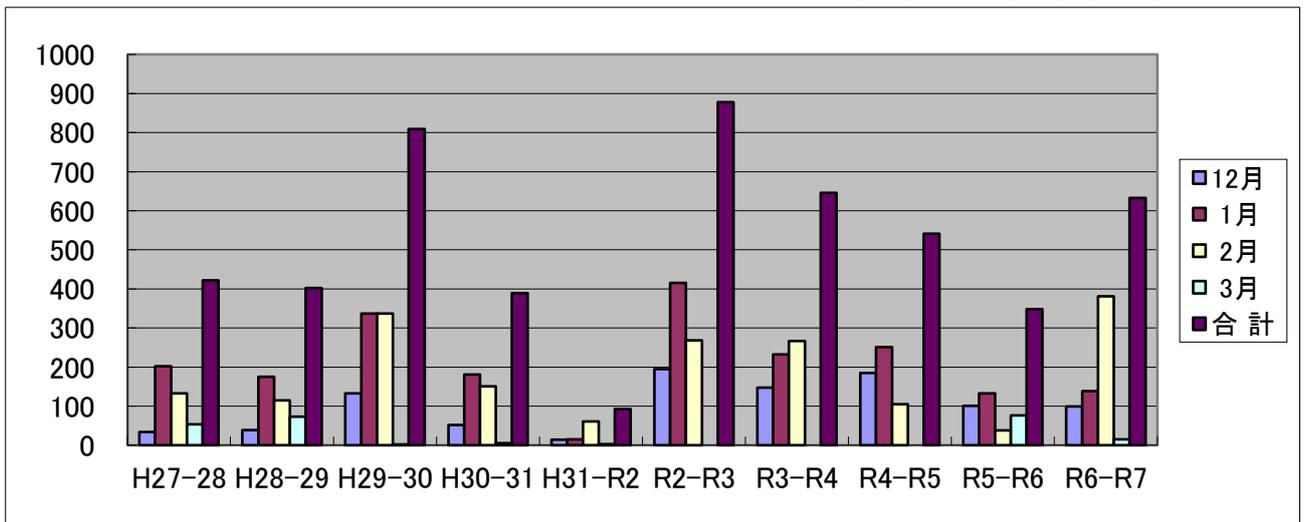
観測地：元中子 単位：(mm)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R2年	241.5	182.0	118.0	147.0	100.0	98.0	346.5	69.5	179.5	119.5	278.5	430.5
R3年	371.0	281.0	95.5	104.0	97.0	75.0	204.5	207.5	123.0	209.0	257.5	318.5
R4年	264.5	203.0	81.5	86.5	66.0	81.0	133.0	176.5	162.5	128.0	150.5	697.5
R5年	333.5	178.0	82.5	83.0	101.0	218.0	147.0	36.0	109.5	259.5	375.0	318.5
R6年	293.0	108.0	227.0	85.0	96.0	66.5	255.5	103.5	197.5	132.5	262.5	530.0

☆ 過去10年間の降雪量調べ

観測地：消防本部 単位：(cm)



	H27-28	H28-29	H29-30	H30-31	H31-R2	R2-R3	R3-R4	R4-R5	R5-R6	R6-R7
12月	34	39	133	52	14	195	147	185	101	99
1月	202	175	337	181	15	415	232	251	133	138
2月	133	115	337	151	61	268	267	105	38	381
3月	53	73	2	5	3	0	0	0	76	15
合計	422	402	809	389	93	878	646	541	348	633



預防關係

1 防火対象物の現況、防火管理者選任状況

☆ 小千谷市

令和7.4.1 現在

防火対象物の別		防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
			必要対象	選任届出済	
(1)	イ	映画館			
	ロ	公会堂・集会場	15	9	9
(2)	イ	キャバレー・カフェ			
	ロ	遊技場	2	2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等			
(3)	イ	料理店	3	2	1
	ロ	飲食店	35	28	21
(4)		百貨店・マーケット	63	34	29
(5)	イ	旅館・ホテル	12	5	5
	ロ	寄宿舎・共同住宅	175	19	16
(6)	イ	病院・診療所等	23	3	3
	ロ	老人短期入所施設等	12	11	10
	ハ	老人デイサービスセンター等	28	15	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	1	1
(7)		小・中・高・各種学校	39(16)	16	15
(8)		図書館等	3	2	2
(9)	ロ	公衆浴場			
(10)		車両の停車場			
(11)		寺院	31	24	21
(12)	イ	工場・作業場	266	33	32
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	35		
(14)		倉庫	184	1	1
(15)		前各項に該当しない事業所	287	47	40
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	152	65	57
	ロ	上記「イ」以外の複合用途防火対象物	146	4	4
(17)		重要文化財	1		
(18)		アーケード（50m以上）			
合計			1,514	321	284

※防火対象物数は棟数。7項（ ）内は施設数。

防火対象物の数		区 分	防 火 対 象 物 数	防 火 管 理 者 選 任 状 況		消 防 面 計 届 出 数
				必 要 対 象	選 任 届 出 済	
(1)	イ	映 画 館				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	2	2	2	2
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー				
	ロ	遊 技 場				
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗				
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等				
(3)	イ	料 理 店				
	ロ	飲 食 店	6	6	6	6
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	4	4	4	4
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	7	2	2	2
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	25	2	2	2
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	1			
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	2	2	2	2
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	2	1	1	1
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校				
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 各 種 学 校	2(2)	2	2	2
(8)		図 書 館 等	2	1	1	1
(9)	ロ	公 衆 浴 場				
(10)		車 両 の 停 車 場	1			
(11)		寺 院	6	4	4	3
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	36	4	4	4
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	3			
(14)		倉 庫	24			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 所	71	8	7	7
(16)	イ	特 定 防 火 対 象 物 の 存 する 複 合 用 途 防 火 対 象 物	14	6	6	6
	ロ	上 記 「 イ 」 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	9	1		
(17)		重 要 文 化 財				
(18)		ア ー ケ ード (5 0 m 以 上)				
合 計			217	45	43	42

※防火対象物数は棟数。7項()内は施設数。

2 建築同意事務処理状況

(1) 過去5年間の処理状況

区分	年別	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
受付数		55	49	50	36	42
同意数		55	49	50	36	※41
不同意数		0	0	0	0	0

※ 1件はR7年同意

(2) 月別処理状況

令和6.1.1～令和6.12.31

区分	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
受付数		42	1	6	4	2	3	10	4	4	5	1	0	2
同意数		41	1	6	3	3	3	10	3	5	5	1	0	1
不同意数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 用途地域別・構造等別

令和6.1.1～令和6.12.31

用途地域別 耐火性及び 構造別	計	第一種低層 住居専用	第一種中層 住居専用	第一種住居	第二種住居	準住居	近隣商業	商業	準工業	工業	その他指定 及びなし
許可申請等及びその他の建築行為 *	6		1			1		2			2
準耐火建築物	4			1						1	2
耐火建築物											
木造	12			4			1			1	6
鉄骨造	15			2			1			1	11
鉄筋コンクリート造	2		1								1
アルミニウム造	3			2							1
合計	42		2	9		1	2	2		3	23

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄以下に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 耐火性を有する場合は、耐火性を優先した計上としている。また、構造別は主たる構造で計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

(4) 用途別・工事別

令和6.1.1～令和6.12.31

用途別		工事別		計	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更	許可申請等 及びその他の 建築行為 *
防 火 対 象 物	併 用 住 宅	1		1						
	共 同 住 宅	5	5							
	事 務 所	3	2	1						
	学 校									
	車 庫	12	7	4	1					
	倉 庫	4	4							
	工場・作業場	3	3							
	旅館・ホテル									
	病院・診療所									
	福祉施設									
	神社・寺院・教会									
	集 会 場									
	遊 技 場									
	店 舗									
	飲 食 店									
その他の事業所等	10	4	2						4	
防以 火対 象物 外	専 用 住 宅	3	2							1
	そ の 他	1								1
合 計		42	27	8	1					6

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄左記に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 用途が住居以外のものは、用途別「その他」に計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

3 中高層建築物の現況

令和7.4.1 現在

防火対象物の別		区分	計	4階		5階		6階	7階	8階	9階	10階
				小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市
(1)	イ	映画館										
	ロ	公会堂・集会場	1	1								
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	料理店										
	ロ	飲食店	1	1								
(4)		百貨店・マーケット										
(5)	イ	旅館・ホテル	6	2	1	2	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅	36	19	2	12	1	1				1
(6)	イ	病院・診療所	1					1				
	ロ	老人短期入所施設等	1			1						
	ハ	老人デイサービスセンター等										
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小・中・高・各種学校	4	4								
(8)		図書館										
(9)	ロ	公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		寺院										
(12)	イ	工場・作業場	11	7		1		2	1			
(13)	イ	自動車車庫										
(14)		倉庫	1	1								
(15)		前各項に該当しない事業所	7	7								
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	11	5	1	3		2				
	ロ	上記「イ」以外の複合用途防火対象物	2	2								
(17)		重要文化財										
(18)		アーケード（50m以上）										
合計			82	49	4	19	2	6	1			1

4 危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数

製造所等別 区分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
年 度 別	令 和 5 年 度	小 千 谷 市	173		18	26	6	39	1	26	4	23			30	
		長岡市川口地域	28		3	1		13		1		4			6	
		合 計	201		21	27	6	52	1	27	4	27			36	
		指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	75		7	4	1	19	1	27	1	1			14
			5倍を越え10倍以下	59		10	11		19			2	3			14
			10倍を越え50倍以下	39		4	7	5	12			1	4			6
			50倍を越え100倍以下	7					2				5			
			100倍を越え150倍以下	3			1						2			
			150倍を越え200倍以下	6									6			
			200倍を越え1,000倍以下	6									6			
	1,000倍を越え5,000倍以下		6			4 *1									2	
	5,000倍を越え10,000倍以下															
	10,000倍を越えるもの															
	令 和 6 年 度	小 千 谷 市	155		16	22	6	39	1	26	1	20			24	
		長岡市川口地域	27		3	1		12		1		4			6	
		合 計	182		19	23	6	51	1	27	1	24			30	
		指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	73		7	4	1	19	1	27	1	1			12
			5倍を越え10倍以下	50		10	7		19				3			11
			10倍を越え50倍以下	34		2	7	5	11				4			5
50倍を越え100倍以下			5					2				3				
100倍を越え150倍以下			2			1						1				
150倍を越え200倍以下			6									6				
200倍を越え1,000倍以下			6									6				
1,000倍を越え5,000倍以下	6				4 *1									2		
5,000倍を越え10,000倍以下																
10,000倍を越えるもの																

*1 準特定屋外タンクを1基含む。

5 危険物製造所等の年間事務処理状況

令和6.4.1～令和7.3.31

製造所等別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
許	設置	2		1					1					
	変更	14				1					7			6
可	移動タンク貯蔵所の常置場所の変更									1				
	転出	1												
	転入	1								1				
完成検査	設置	4		1	2				1					
	変更	15					1				8			6
廃止届		23		3	6		1		1	3	3			6

6 試験・測定資器材

令和7.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
自動火災報知設備検査器具	熱 式、煙 式	各 1 式
テ ス タ ー	デジタルテスター M300	1
超 音 波 厚 さ 計	T I 5 5	1
ガ ス 検 知 器	北 川 式	1
可 燃 性 ガ ス 検 知 器	F M - I C	1
温 度 計	表 面 温 度 計	1
カ メ ラ	火災原因調査用キャノン60D他	2
ポ ー タ ー ス モ ー ク	出力10m ³ /分～31m ³ /分	2
レ ー ザ ー レ ン ジ メ ー タ	H I L T I P D 3 0	1

7 火災概要表

区 分		6年 (A)	5年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		9	10	△ 1
種 別	建 物 火 災	4	3	1
	林 野 火 災	1	0	1
	車 両 火 災	2	3	△ 1
	その他の火災	2	4	△ 2
損 害 額 (千 円)		5,080	7,128	△ 2,048
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		37	57	△ 20
林 野 焼 損 面 積 (a)		89	0	89
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	2	2	0
り 災 世 帯 数		2	2	0
り 災 者 数		5	3	2

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和6. 1. 1~令和6. 12. 31)								合 計
	灰の中の火種	ごみ焼却炉	その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	たばこ	たき火	交通機関内配線	線 香	不 明	
全 焼	1	1							2
半 焼									
部 分 焼									
ぼ や			1	1					2
林 野					1				1
車 両						1		1	2
そ の 他				1			1		2
合 計	1	1	1	2	1	1	1	1	9

☆ 小千谷市

区 分		6年 (A)	5年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		8	8	0
種 別	建 物 火 災	3	3	0
	林 野 火 災	1	0	1
	車 両 火 災	2	2	0
	その他の火災	2	3	△ 1
損 害 額 (千 円)		2,094	7,118	△ 5,024
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		7	57	△ 50
林 野 焼 損 面 積 (a)		89	0	89
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	2	2	0
り 災 世 帯 数		2	2	0
り 災 者 数		5	3	2

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和6.1.1~令和6.12.31)							合 計
	灰の中の火種	その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	たばこ	たき火	交通機関内配線	線 香	不 明	
全 焼	1							1
半 焼								
部 分 焼								
ぼ や		1	1					2
林 野				1				1
車 両					1		1	2
そ の 他			1			1		2
合 計	1	1	2	1	1	1	1	8

☆ 長岡市川口地域

区 分		6年 (A)	5年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		1	2	△ 1
種 別	建 物 火 災	1	0	1
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	0	1	△ 1
	その他の火災	0	1	△ 1
損 害 額 (千 円)		2,986	10	2,976
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		30	0	30
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	0	0	0
り 災 世 帯 数		0	0	0
り 災 者 数		0	0	0

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和6. 1. 1～令和6. 12. 31)	
	ごみ焼却炉	合 計
全 焼	1	1
半 焼		
部 分 焼		
ぼ や		
林 野		
車 両		
そ の 他		
合 計	1	1

8 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数							焼損面積			損害額(千円)					1件当り建物焼損面積(m ²)	1件当り建物損害額(千円)	
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両その他	建物	林野	その他	合計	建物	林野	車両	その他			
2年	15	1	1	2	4		1	6	180		9,093	10,362	9,643		719		23	1,205
3年	12	2	2	1	2			5	1,461		3,852	89,344	89,344				209	12,763
4年	10	2		2	1		2	3	405		909	9,374	9,192		110	72	81	1,838
5年	10		1	1	1		3	4	57		290	7,128	6,328		721	79	19	2,109
6年	9	2			2	1	2	2	37	89	395	5,080	4,783		297		9	1,196

※少数点以下は四捨五入

9 過去5年間の月別火災発生状況

区分 月別	2年				3年				4年				5年				6年			
	建物	林野	車両	その他																
1月					1				2											
2月	2													1						
3月	1			2						1										
4月				1	1			2	1				1			1				1
5月	2		1	3	1				1			2					2	1		1
6月								2									1			
7月									1			1								1
8月					2			1					1		1	3				1
9月	1				1															
10月													1		1					
11月					1						1						1			
12月	2																			
小計	8		1	6	7			5	5		2	3	3		3	4	4	1	2	2
合計	15				12				10				10				9			



敬防關係

1 火災・風水害等件数状況

令和6.1.1～令和6.12.31

区 分 種 別	消 防 署 (川口出張所を含む)		小 千 谷 市 消 防 団	
	件 数	延 人 員	件 数	延 人 員
火 災	9	149	8	141
救 急	1,868	5,854		
救 助	30	296		
風 水 害 等 の 災 害				
演 習 ・ 訓 練	42	248	36	553
広 報 ・ 指 導	311	1,015	319	1,572
警 防 調 査	84	271		
火 災 原 因 調 査	11	29		
特 別 警 戒	55	243	95	347
捜 索	1	8	1	3
予 防 査 察	114	340	3	3
誤 報 等				
そ の 他	1,094	2,708		
合 計	3,619	11,161	462	2,619

※ 警戒出動の出動回数・延人員については「その他」に含んでいます。
(警戒出動～自動火災報知機の誤作動による出動、未確認情報による出動、道路上及び河川等に流出した油の処理等)

2 消防水利

令和7.4.1 現在

水利 管轄区分	公設水利								
	消火栓			防火水槽・貯水槽					
	地上式	地下式	計	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	計
小千谷市	442	330	772	1	12	225	66	53	357
	311	257	568	1	12	225			238
長岡市 川口地域	95	12	107		2	98	7		107
	74	9	83		2	98			100
計	537	342	879	1	14	323	73	53	464
	385	266	651	1	14	323	0	0	338

※ 上段は行政財産数、下段は消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）数。

※ 平成26年4月1日より「消防水利の基準」の改定に基づき水利数変更。

☆ 防火水槽・貯水槽のうち、耐震性を有する貯水槽

水利 管轄区分	耐震性貯水槽				
	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	計
小千谷市		3	43		46
長岡市 川口地域		1	4		5
計	0	4	47	0	51

3 消防資機材装備状況

令和7.4.1 現在

名 称		規 格
消 防 用 ホ ー ス		40mm・50mm・65mm
林野火災 対応資機材	可搬式ポンプ	C-1級、D-1級
	ジェットシューター	手動式 20ℓ
	ラビットシューター	エンジン式
中 継 用 組 立 水 槽		—
金 属 探 知 機		—

4 水防資材備蓄状況

令和7.4.1 現在

品 名	倉庫名	消防本部	消防団	東小千谷防 災備蓄倉庫 (元中子)	小千谷市水防倉庫			合 計
					元 町	川 井	五 辺	
布袋類 (枚)		3,000		10,400	35,900	5,200	27,500	82,000
縄 (巻)		20		8	11	6	5	50
鉄製杭 (本)		25		41	54	46	30	196
杭木類 (本)					30	30	100	160
鉄線 (kg)		25		25	25	25	25	125
T型マット					1			1
スコップ		30		10	13	12	20	85
かけや		4		2	2	4	2	14
ハンマー		3		3	3	2	2	13
鋸 (のこぎり)		1		1	4	3	1	10
鉋 (なた)		1		1	2	2	1	7
鎌 (かま)		22		6	8	11	8	55
つるはし		1		2	6	6	7	22
鍬 (くわ)					2	3	1	6
番線カッター		2		1	2	2	1	8
しの		2		2	3	3	2	12
ビニールシート		33		24	31	10	7	105
斧 (おの)		1			3	1	1	6
救命胴衣		34	80	33	30	10	20	207
PPロープ (本)				4	12	5	10	31
むしろ					60		3	63
一輪車		3		2	3	1	1	10
単管パイプ		10						10
土のう作成器		2						2
砂 (m ³)		2		1				3
発電機				1	1			2
投光器 (スタンド付)				1	1			2

※水防資材は防災安全課所管

※玉縄1巻:3.5kg

5 消防車両一覧

令和7.4.1 現在

所属	車名	社名	登録番号	ポンプ	排気量	定員	総重量(kg)	年式	級別	登録年月
本部 (消防署)	特殊水槽付消防ポンプ自動車 (小千谷タンク1)	日野	長岡 800 は 1610	長野ポンプ	6,400	6	10,930	2017	A-2	H 29. 1
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ1)	日野	長岡 800 す 5303	モリタ	4,000	5	6,725	2025	A-2	R 7. 1
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ2)	日野	長岡 800 す 1654	長野ポンプ	4,000	5	6,475	2015	A-2	H 27. 12
	化学車 (小千谷化学1)	日野	長岡 800 は 877	モリタ	6,400	6	11,370	2009	A-2	H 21. 2
	救助工作車 (小千谷救助1)	日野	長岡 800 は 1016	-	6,400	6	10,880	2010	-	H 22. 12
	はしご付消防ポンプ自動車 (小千谷梯子1)	日野	長岡 800 は 1794	-	8,860	6	18,440	2019	-	H 31. 3
	高規格救急自動車 (小千谷救急1)	トヨタ	長岡 832 ゆ 119	-	2,690	7	3,205	2019	-	R 1. 11
	高規格救急自動車 (小千谷救急2)	トヨタ	長岡 832 ふ 119	-	2,690	7	3,155	2014	-	H 26. 10
	高規格救急自動車 (小千谷救急3)	トヨタ	長岡 832 そ 119	-	2,690	7	3,205	2012	-	H 24. 1
	多目的車 (小千谷指令1)	トヨタ	長岡 200 さ 2172	-	2,690	14	2,960	2016	-	H 28. 8
	資機材運搬車 (小千谷指令2)	マツダ	長岡 800 さ 7088	-	2,990	3	4,235	2007	-	H 19. 9
	防火指導車 (小千谷指令3)	スズキ	長岡 880 あ 1151	-	650	4	1,230	2016	-	H 28. 8
	防火広報車(指揮車) (小千谷指令5)	トヨタ	長岡 800 す 3612	-	2,690	5	2,345	2019	-	R 1. 9
ボートトレーラー	ミッドウエスト	長岡 800 る 38	-	-	-	750	2002	-	H 14. 7	
川口出張所	消防ポンプ自動車 (川口ポンプ1)	日野	長岡 800 さ 9866	長野ポンプ	4,000	5	6615	2012	A-2	H 24. 11
	高規格救急自動車 (川口救急1)	トヨタ	長岡 832 る 119	-	2,690	7	3,135	2023	-	R 5. 11
	指令広報車 (川口指令1)	トヨタ	長岡 800 す 1451	-	1,490	5	2,130	2015	-	H 27. 7

※ () は無線呼出名称。



救急救助關係

救急関係

1 事故種別出場状況

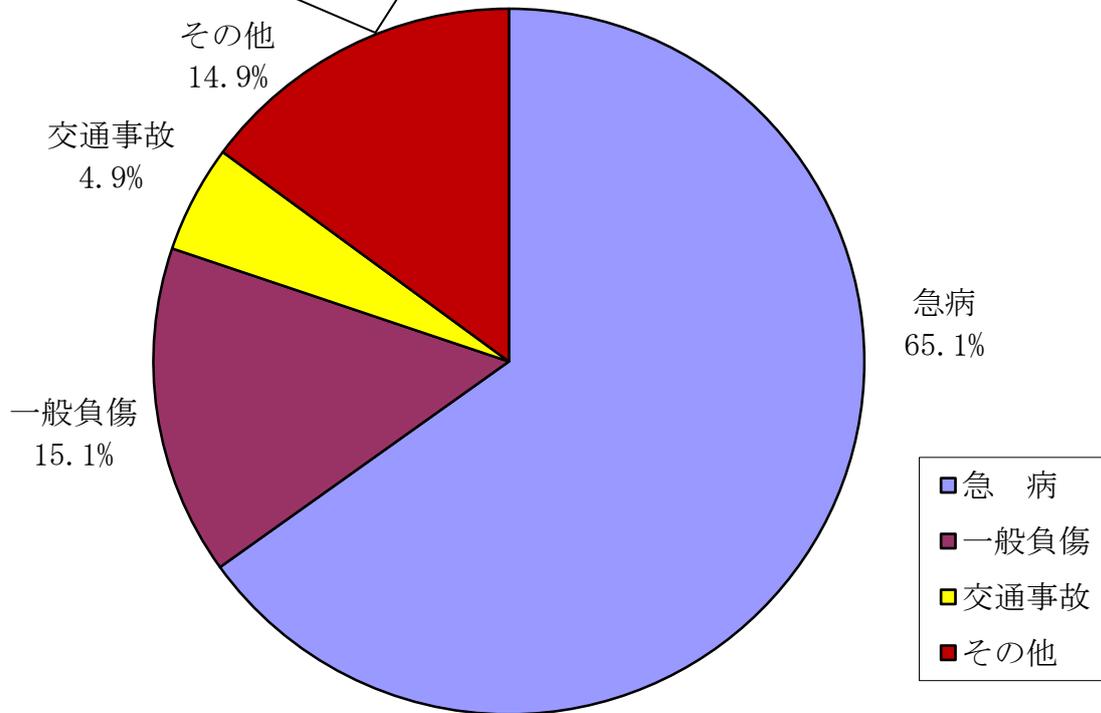
令和6.1.1～令和6.12.31

種別 地区別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
				災	事	事	災	競	負		行		他
				害	故	故	害	技	傷	害	為	病	
出 場 件 数	小千谷市	1,644	2			72	19	5	248	2	14	1,055	227
	長岡市川口地域	212				12	1		34		1	157	7
	高速道路	12				8						4	
	管外応援	0											
	合計	1,868	2	0	0	92	20	5	282	2	15	1,216	234
不 搬 送 件 数	小千谷市	156				13	1		28		5	101	8
	長岡市川口地域	27				2			4		1	15	5
	高速道路	2				2							
	管外応援	0											
	合計	185	0	0	0	17	1	0	32	0	6	116	13
搬 送 人 員	小千谷市	1,493	2			63	18	5	221	2	9	954	219
	長岡市川口地域	185				10	1		30			142	2
	高速道路	10				6						4	
	管外応援	0											
	合計	1,688	2	0	0	79	19	5	251	2	9	1,100	221

2 事故種別出場比率

令和6.1.1～令和6.12.31

転院搬送	222件	労働災害	20件	医師搬送	7件	自損行為	15件
運動競技	5件	加害	2件	火災	2件	その他	5件



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。
(件)

事故種別	合計	急病	一般負傷	交通事故	その他
出場件数	1,868	1,216	282	92	278

3 地区別出場状況

令和6.1.1～令和6.12.31

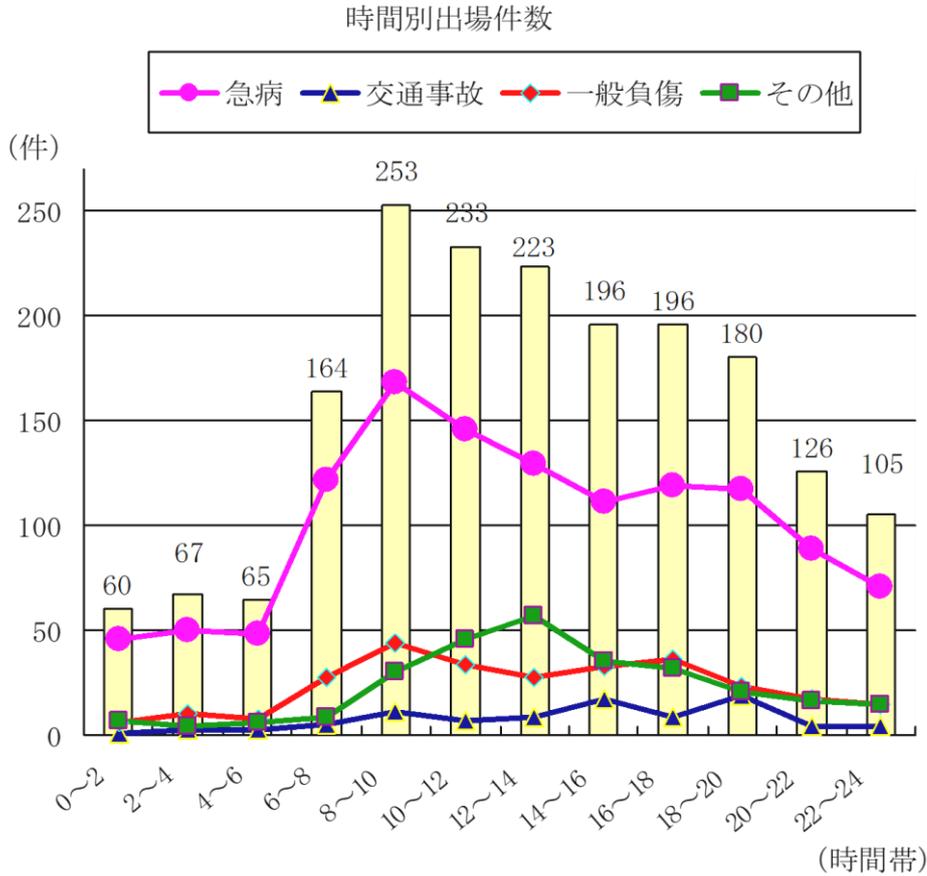
(件)

		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
小 千 谷 市	城 川	573	269	21	64	219
	東 小 千 谷	255	188	10	49	8
	西 小 千 谷	247	189	11	39	8
	千 田	154	112	6	24	12
	片 貝	157	112	5	30	10
	山 辺	56	38	4	14	
	真 人	57	41	3	8	5
	岩 沢	29	16	5	4	4
	吉 谷	53	42	2	8	1
	高 梨 ・ 五 辺	24	18	4	1	1
	東 山	19	14	1	4	
	川 井	20	16		3	1
	合 計	1,644	1,055	72	248	269
長 岡 市 川 口 地 域	西 川 口	60	49		8	3
	東 川 口	53	38	3	10	2
	中 山	27	16	3	7	1
	和 南 津	15	11	3	1	
	相 川	12	9	1	2	
	牛 ヶ 島	11	8	1	2	
	貝 ノ 沢	10	9			1
	田 麦 山	12	9		3	
	武 道 窪	4	2	1		1
	木 沢	5	4			1
	荒 谷	1	1			
	峠	2	1		1	
	合 計	212	157	12	34	9
高 速 道 路	関越自動車道上り	6	2	4		
	関越自動車道下り	6	2	4		
	合 計	12	4	8	0	0
管 外 応 援	長 岡 市	0				
	十 日 町 市	0				
	魚 沼 市	0				
	合 計	0	0	0	0	0
合 計		1,868	1,216	92	282	278

4 時間別出場状況

出場件数を時間別で見ると、午前8時から午前10時の253件が最多でした。

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31

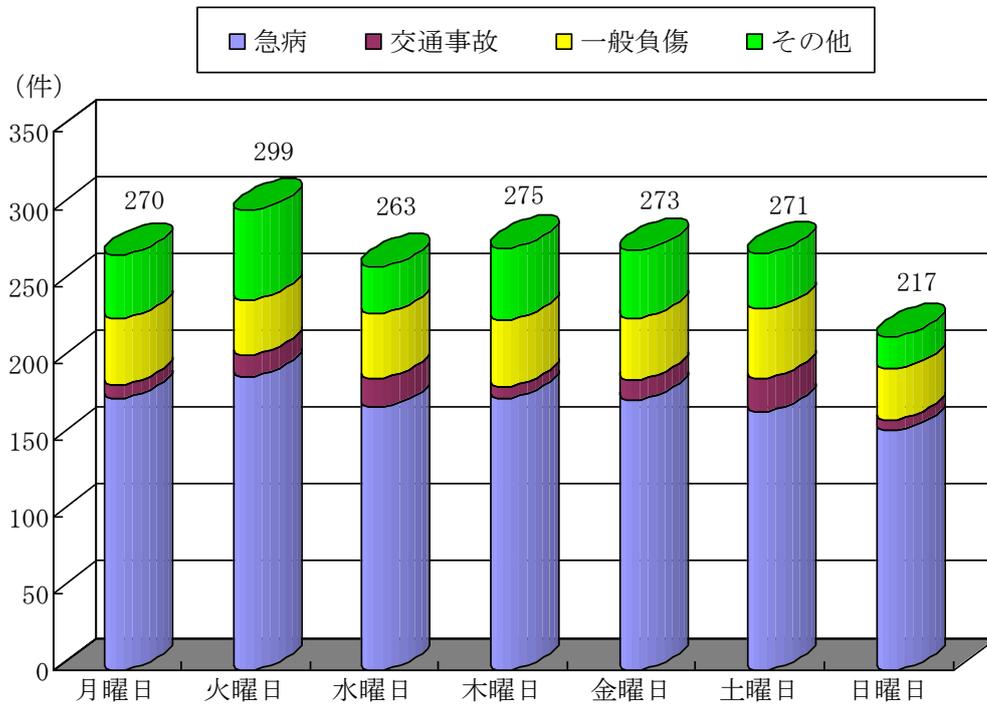


(件)

時間 種別	計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合計	1,868	60	67	65	164	253	233	223	196	196	180	126	105
急病	1,216	46	50	48	122	168	146	129	111	119	117	89	71
交通事故	92	1	3	3	5	11	7	9	17	9	19	4	4
一般負傷	282	6	10	8	28	44	34	28	33	36	23	17	15
その他	278	7	4	6	9	30	46	57	35	32	21	16	15

5 曜日別出場状況

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31



(件)

曜日 種別	計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
合計	1,868	270	299	263	275	273	271	217
急病	1,216	177	191	171	177	176	168	156
交通事故	92	9	14	19	8	13	22	7
一般負傷	282	43	36	42	43	40	45	33
その他	278	41	58	31	47	44	36	21

6 月別出場状況

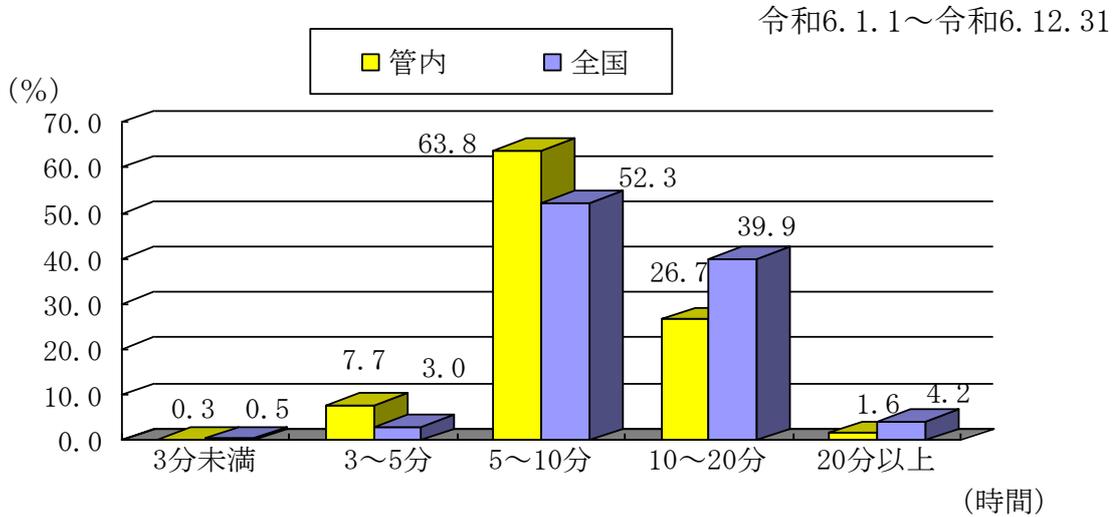
令和6.1.1～令和6.12.31

事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	その他	
1月	救急出場件数	165			6			24			114	20	1	
	不搬送件数	16			2			5			8		1	
	搬送人員	150			5			19			106	20		
2月	救急出場件数	151			6	1		22	1	1	102	16	2	
	不搬送件数	15			1			3			9		2	
	搬送人員	136			5	1		19	1	1	93	16		
3月	救急出場件数	160			4			19		2	108	25	2	
	不搬送件数	12			1						9		2	
	搬送人員	150			4			20		2	99	25		
4月	救急出場件数	137			11			23			86	16	1	
	不搬送件数	13						4			7	1	1	
	搬送人員	124			11			19			79	15		
5月	救急出場件数	150			7	3	1	23	1	1	97	16	1	
	不搬送件数	11			1			2			7		1	
	搬送人員	140			7	3	1	21	1	1	90	16		
6月	救急出場件数	133	1		6	3	1	12		1	92	16	1	
	不搬送件数	18			2			2		1	12		1	
	搬送人員	115	1		4	3	1	10			80	16		
7月	救急出場件数	149			13	2	1	17		3	97	16		
	不搬送件数	13			4			1		2	6			
	搬送人員	136			9	2	1	16		1	91	16		
8月	救急出場件数	165	1		9	2		29			105	19		
	不搬送件数	14						2			12			
	搬送人員	152	1		10	2		27			93	19		
9月	救急出場件数	180			13	5	2	31		2	112	14	1	
	不搬送件数	14			4			3		1	5		1	
	搬送人員	166			9	5	2	28		1	107	14		
10月	救急出場件数	150			3			24		3	96	22	2	
	不搬送件数	21						5		1	13		2	
	搬送人員	129			3			19		2	83	22		
11月	救急出場件数	158			8	3		20		2	102	22	1	
	不搬送件数	22			1	1		2		1	16		1	
	搬送人員	136			7	2		18		1	86	22		
12月	救急出場件数	170			6	1		38			105	20		
	不搬送件数	16			1			3			12			
	搬送人員	154			5	1		35			93	20		
合計	救急出場件数	1,868	2	0	0	92	20	5	282	2	15	1,216	222	12
	不搬送件数	185	0	0	0	17	1	0	32	0	6	116	1	12
	搬送人員	1,688	2	0	0	79	19	5	251	2	9	1,100	221	0

7 現場到着所要時間別出場件数の状況

119番通報を受けてから現場に到着するまでの所要時間は、平均で約8.3分でした。

*全国平均（令和5年）は約10.0分です。「令和6年版 救急救助の現況」から引用



	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
管内 (%)	0.3	7.7	63.8	26.7	1.6
全国 (%)	0.5	3.0	52.3	39.9	4.2

※ 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

(件)

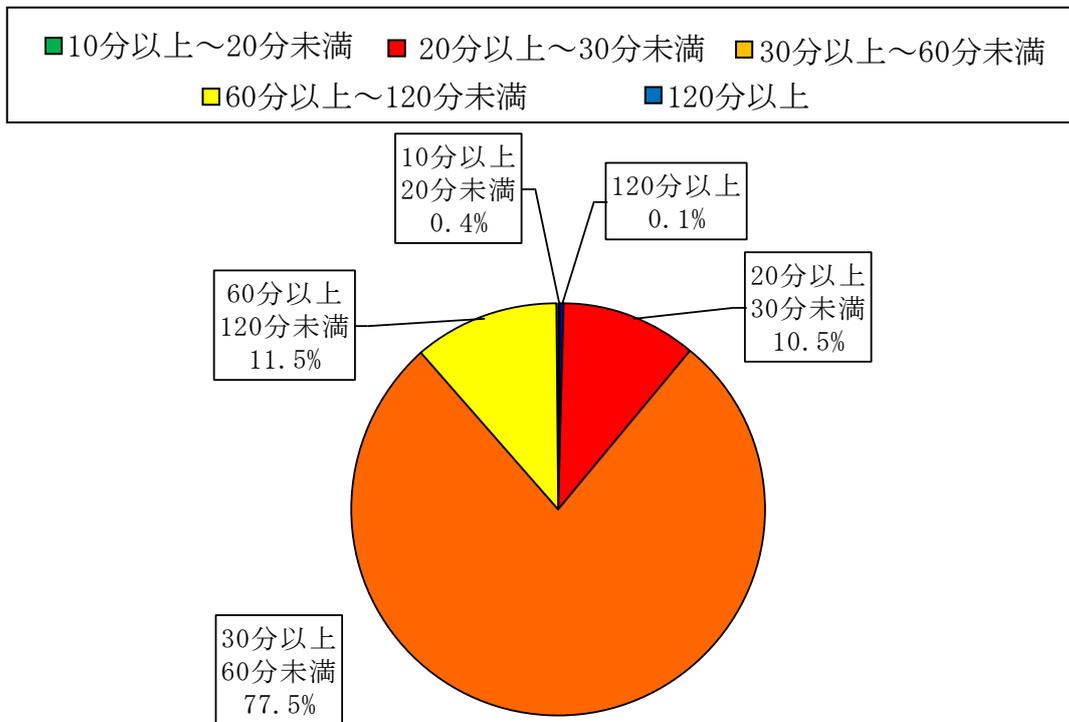
種 別		時 間							
		所 要 時 間					合 計	平 均 (分)	最 高 (分)
時 間	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上				
件 数	急 病	3	66	781	348	18	1,216	8.5	46
	交通 事故		5	47	38	2	92	9.9	20
	一 般 負 傷		25	165	84	8	282	8.5	25
	そ の 他	3	47	199	28	1	278	6.4	25
合 計		6	143	1,192	498	29	1,868		

8 事故種別搬送人員収容所要時間状況

119番通報を受けてから傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は平均で約43.9分でした。

* 全国平均（令和5年）は約45.6分です。「令和6年版 救急救助の現況」から引用

令和6.1.1～令和6.12.31



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。(人)

種別	時間	所要時間						合計	平均(分)	最高(分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上			
搬送人員	急病		3	129	836	132		1,100	43.8	101
	交通事故			7	60	11	1	79	46.8	121
	一般負傷			28	182	40	1	251	45.7	122
	その他		3	14	230	11		258	42.0	91
	合計		0	6	178	1,308	194	2	1,688	

9 年齢区分別・傷病程度別・事故種別搬送人員数

搬送人員を年齢区分別で見ると高齢者が最も多く約74.5%を占めており、傷病程度別で見ると軽症が最も多く約45.6%を占めています。

令和6.1.1～令和6.12.31

(人)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合計	事故種別											
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	1												1
	軽症	0												
	その他	0												
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳幼児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	2										1	1	
	軽症	29							5			23	1	
	その他	0												
	計	31	0	0	0	0	0	0	5	0	0	24	2	
少年	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	10				2			1		1	4	2	
	軽症	33				3		2	4			22	2	
	その他	0												
	計	43	0	0	0	5	0	2	5	0	1	26	4	
成人	死亡	3										2	1	
	重症	41				3	5		2		3	13	15	
	中等症	90				5	3	1	3		3	47	28	
	軽症	221	1			31	6	2	32	1	1	143	4	
	その他	1												1
	計	356	1	0	0	39	14	3	37	1	7	205	49	
高齢者	死亡	51				1	1		3			45	1	
	重症	209				5	1		34			132	37	
	中等症	509	1			11	3		52			327	115	
	軽症	487				18			114	1	1	341	12	
	その他	1							1					
	計	1,257	1	0	0	35	5	0	204	1	1	845	165	
合計	死亡	54				1	1		3			47	2	
	重症	250				8	6		36		3	145	52	
	中等症	612	1			18	6	1	56		4	379	147	
	軽症	770	1			52	6	4	155	2	2	529	19	
	その他	2							1					1
	計	1,688	2	0	0	79	19	5	251	2	9	1,100	221	

※年齢区分

新生児：生後28日未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

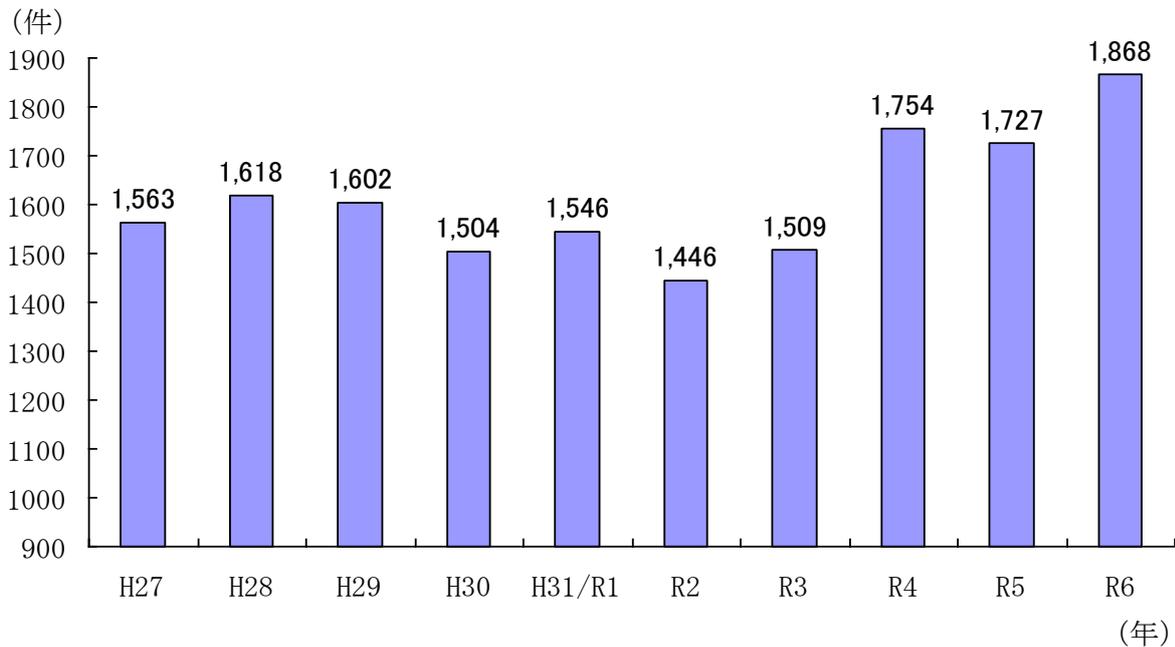
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

10 過去5年間の事故種別出場状況

年		事故種別	合計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
				災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
				害	害	事	事	災	競	負		行		他
						故	故	害	技	傷		為		
R2年	出場件数	1,446			2	97	27	3	236	7	20	883	171	
	不搬送	147			2	14	1		17	2	6	90	15	
	搬送人員	1,311				93	26	3	220	6	14	793	156	
R3年	出場件数	1,509	1		2	102	30	6	224	3	21	923	197	
	不搬送	133	1		2	17	1		12		9	76	15	
	搬送人員	1,391				96	29	6	215	3	12	848	182	
R4年	出場件数	1,754	1			86	23	5	281	1	10	1,122	225	
	不搬送	160				15	1		21		1	105	17	
	搬送人員	1,598	1			74	22	5	260	2	9	1,017	208	
R5年	出場件数	1,727	1		2	70	18	9	241	7	22	1,140	217	
	不搬送	140			1	5			18	2	8	95	11	
	搬送人員	1,595	2		1	70	18	9	223	5	14	1,047	206	
R6年	出場件数	1,868	2			92	20	5	282	2	15	1,216	234	
	不搬送	185				17	1		32		6	116	13	
	搬送人員	1,688	2			79	19	5	251	2	9	1,100	221	

1 1 過去10年間の出場件数の推移



1 2 搬送人員別医療機関問合せ回数

問合せ回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	8回
搬送人員	1,153	166	101	31	12	3	1

※1 平均問合せ回数は1.36回で、最多問合せ回数は8回でした。

※2 転院搬送221人を除く。

1 3 転送回数別搬送人員・転送理由

回数	合計	0回	1回	2回以上
搬送人員	1,688	1,687	1 (処置困難による)	なし

※1 転送とは、最初の医療機関に収容できず、他の医療機関に収容したものの。

※2 転送回数「0回」とは、最初の医療機関に収容したものの。

1 4 熱中症件数

搬送人員1,688人のうち熱中症（疑い含む）で搬送した人員は26人でした。

	R2	R3	R4	R5	R6
搬送人員	24	15	17	29	26

1 5 事故種別収容医療機関状況

搬送人員数1,688人のうち、小千谷市の医療機関に収容した人員は1,034人で搬送人員数の61.3%（前年62.5%）でした。

令和6.1.1～令和6.12.31

(人)

区域	医療機関	合計	急病	交通	一般負傷	その他
小千谷市	告示 厚生連小千谷総合病院	1,004	748	51	171	34
	山本医院	15	7		8	
	根元整形外科医院	10	2	4	3	1
	池田内科医院	2	2			
	北村医院	1	1			
	山下メンタルクリニック	2	2			
長岡市	告示 長岡赤十字病院	254	131	17	26	80
	告示 長岡中央総合病院	207	105	5	16	81
	告示 立川総合病院	170	87	1	26	56
	告示 長岡西病院	3	3			
	田宮病院	3	2			1
	悠遊健康村病院	1	1			
その他	告示 新潟大学医歯学総合病院	1				1
	告示 柏崎総合医療センター	1				1
	告示 魚沼基幹病院	4		1	1	2
	告示 魚沼市立小出病院	3	3			
	告示 県立十日町病院	3	2			1
	告示 国立病院機構新潟病院	1	1			
	告示 南魚沼市民病院	1	1			
	柏崎厚生病院	1	1			
	五日町病院	1	1			
合計		1,688	1,100	79	251	258

※ 「告示」は救急告示病院を示す。

1 6 ドクターヘリ要請状況

ドクターヘリ要請件数は136件でした。その内、実際にドクターヘリが会場活動したのは82件でした。事故種別では、「火災」1件、「急病」60件、「一般負傷」3件、「交通事故」7件、「労働災害」7件、「自損行為」2件、「転院搬送」2件となっています。

要請後キャンセル理由は、「天候不順」、「時間外要請」、「重複要請」、「観察の結果不要」でした。

1 7 署所別出場状況

令和6.1.1～令和6.12.31

	合 計	小千谷市消防署	川口出張所
出 場 件 数	1,868件	1,549件	319件
不 搬 送 件 数	185件	149件	36件
搬 送 人 員 数	1,688人	1,405人	283人

1 8 覚知別出場状況

令和6.1.1～令和6.12.31
(件)

覚 知 別	1 1 9	携帯119	普通電話	駆け込み	その他
件 数	908	670	192	5	93

1 9 搬送傷病者居住地状況

令和6.1.1～令和6.12.31
(人)

全 搬 送 者 数 1,688				
管 内 居 住 者 1,539		管 外 居 住 者 149		その他
小 千 谷 市	長 岡 市 川 口 地 域	県 内	県 外	
1,359	180	125	24	0

※「その他」とは、外国人旅行者（外国人のうち日本に住所を有していない外国人）又は住所が判明していないもの等をいう。

2 0 発生場所別搬送人員数

令和6.1.1～令和6.12.31
(人)

場 所 種 別	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急 病	1,100	841	193	29	28	9
交通事故	79	1	4		74	
一般負傷	251	173	42	3	23	10
そ の 他	258	12	231	13	1	1
合 計	1,688	1,027	470	45	126	20

※【発生場所】とは、事故等の発生した場所又は傷病者の居た場所をいう。
「住宅」…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
「公衆出入場所」…多数の人が集まる場所
「仕事場」…工場・作業所・各種事業所等の仕事をしている場所
「道路」…一般道路・高速道路・交差点・歩道及び歩道橋等
「その他」…公園・広場・空地（発生場所が不明なものを含む。）

2 1 応急処置等実施状況

令和6.1.1～令和6.12.31

	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
止血	63	10	10	34	9
固定	94	8	21	54	11
人工呼吸	15	14			1
心マッサージ	0				
心肺蘇生	47	42		2	3
心肺蘇生（自動）	38	33		2	3
酸素吸入	375	296	9	11	59
気道確保	56	48		4	4
気道確保 * 1	3	3			
気道確保 * 2	0				
気道確保 * 3	36	33		2	1
保温	242	155	11	44	32
被覆	93	5	18	54	16
在宅療法維持	7	7			
除細動	4	4			
静脈路確保	60	52		4	4
薬剤投与	15	14		1	
その他の応急処置	1,658	1,084	79	247	248
血圧測定	1,606	1,036	78	243	249
聴診器による呼吸音等の聴取	699	525	56	57	61
血中酸素飽和度の測定	1,639	1,058	79	248	254
心電図	1,569	1,049	67	219	234
血糖測定	38	35		3	
ブドウ糖投与	3	3			

※ 気道確保のうち* 1は経鼻エアウェイ使用、* 2は喉頭鏡、鉗子等による異物除去、* 3はラリングアルマスク等による気道確保。

2 2 救急資器材

名	称
血 圧 計	ネ ッ ク カ ラ ー
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器	陰 圧 ギ プ ス
体 温 計	シ ー ネ
ベ ッ ド サ イ ド モ ニ タ	終 末 呼 気 ガ ス モ ニ タ ー
聴 診 器	頭 部 固 定 マ ク ラ
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	経 口 エ ア ウ ェ イ
布 担 架	経 鼻 エ ア ウ ェ イ
バ ッ ク ボ ー ド 一 式	ラ リ ン ゲ ア ル チ ュ ー ブ
酸 素 ポ ン ベ	除 細 動 器
バ ッ グ バ ル ブ マ ス ク	自 動 式 人 工 呼 吸 器
吸 引 器	人 工 心 肺 蘇 生 シ ス テ ム
喉 頭 鏡	血 糖 測 定 器
マ ギ ー ル 鉗 子	車 両 用 オ ゾ ン 殺 菌 器
ガ ー グ ル ベ ー ス ン	器 具 用 E O G 滅 菌 器
止 血 帯 (タ ー ニ ケ ッ ト)	骨 盤 固 定 具 (T - P O D)

2 3 訓練用資器材

名	称
レ サ シ ア ン	気 道 管 理 ト レ ー ナ ー
C P R マ ネ キ ン	静 脈 採 血 注 射 モ デ ル I 型
A E D ト レ ー ナ ー	エ ピ ペ ン ス タ ー タ ー キ ッ ト
蘇 生 訓 練 用 生 体 シ ム ム レ ー タ ー	

救助関係

2 4 事故種別、発生場所別救助出動状況

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31
(件)

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						5	1			6
	その他	1				1					2
道路	高速道路		3								3
	その他		11								11
水面											0
山岳										2	2
その他屋外			2			1				3	6
計		1	16	0	0	2	5	1	0	5	30

2 5 事故種別、発生場所別救助活動状況

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31
(件)

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						5	1			6
	その他	1									1
道路	高速道路		2								2
	その他		7								7
水面											0
山岳										2	2
その他屋外			2			1				2	5
計		1	11	0	0	1	5	1	0	4	23

2 6 事故種別、発生場所別救助人員状況

令和6. 1. 1～令和6. 12. 31
(人)

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						3	1			4
	その他	1									1
道路	高速道路		2								2
	その他		7								7
水面											0
山岳										2	2
その他屋外			2			1				2	5
計		1	11	0	0	1	3	1	0	4	21

27 救助器具

省令別表1

分類	品名	品名
一般救助用器具	かぎ付きはしご	三連はしご
	ワイヤはしご	空気式救助マット
	救命索発射銃	サバイバースリング・救助用縛帯
	平担架	ロープ
	カラビナ	滑車
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー
	可搬ウィンチ	ワイヤーロープ
	マンホール救助器具	
切断用器具	エンジンカッター	ガス溶断器
	チェーンソー	鉄線カッター
破壊用器具	万能斧	ハンマー
	携帯用コンクリート破壊器具	
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	有毒ガス測定器
	酸素濃度測定器	放射線測定器
呼吸保護用器具	空気呼吸器	空気補充用ポンペ
隊員保護用器具	革手袋	耐電手袋
	安全帯	防塵メガネ
	携帯警報器	防毒マスク
	陽圧式化学防護服	耐熱服
	放射線防護服	
水難救助用器具	流水救助器具一式	救命胴衣
	水中投光器	救命浮環
	救命ボート	船外機
山岳救助用器具	登山器具一式	バスケット担架
その他の救助用器具	投光器一式	携帯投光器
	携帯拡声器	携帯無線機
	応急処置用セット	車両移動器具
	その他の携帯救助工具	

省令別表2

分類	品名	品名
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	大型油圧スプレッダー
	チェーンブロック	
切断用器具	空気鋸	大型油圧切断機
	空気切断機	
破壊用器具	削岩機	ハンマドリル
呼吸保護用器具	防塵マスク	送排風機
隊員保護用器具	耐電衣	耐電ズボン
	耐電長靴	特殊ヘルメット
その他の救助用器具	緩降機	ロープ登降機
	発電機	救助用降下機

省令別表3

分類	品名	品名
高度救助用器具	熱画像直視装置	

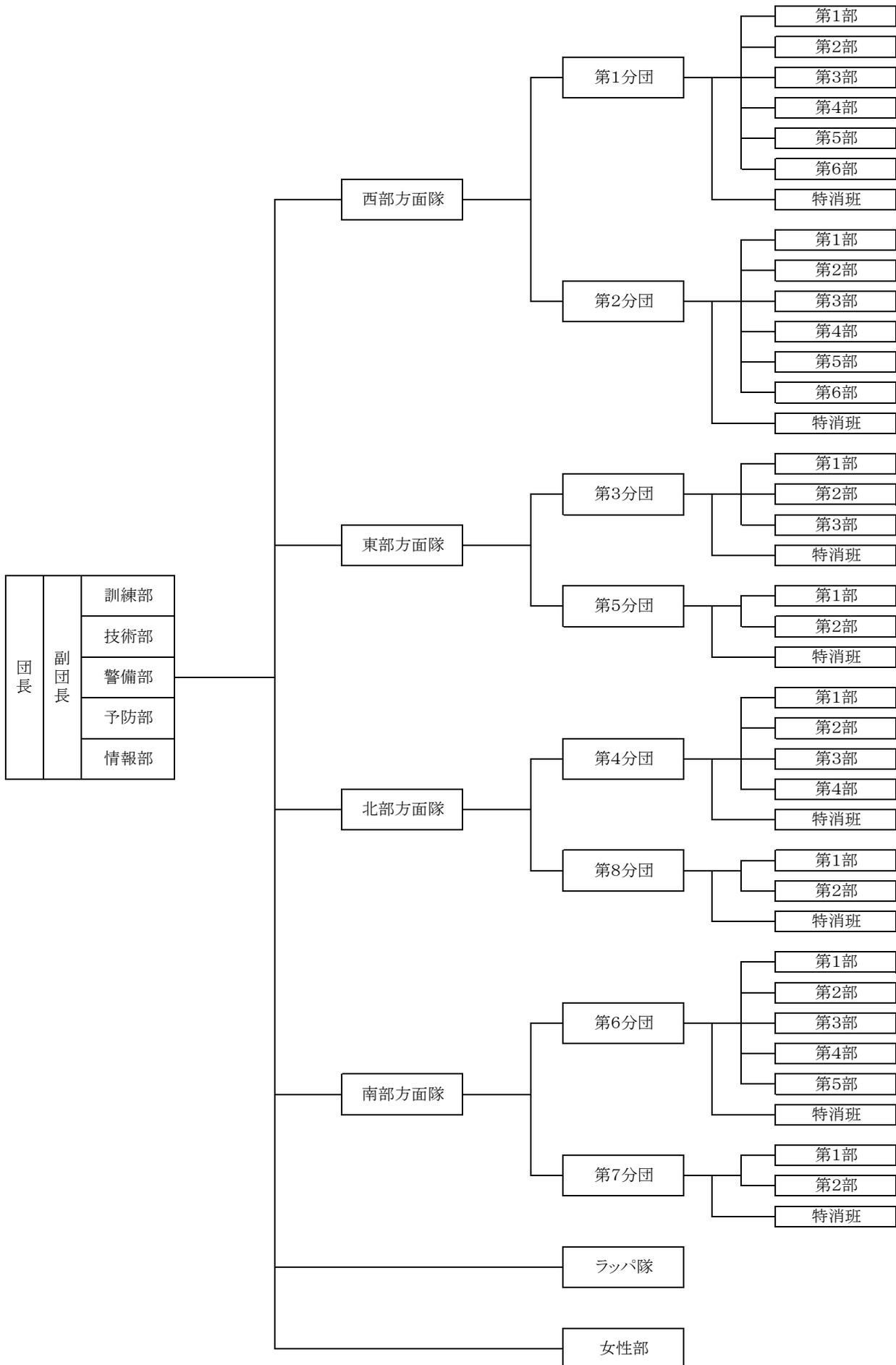


消防團關係

1 消防団組織図

☆ 小千谷市消防団

令和7.4.1 現在



2 歴代消防団長

令和7.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
小千谷市	初	長井 与兵衛	S 14. 4. 1 ~ S 15. 8. 8	小千谷町警防団長
	2	五十嵐 原 治	S 15. 11. 20 ~ S 17. 12. 25	〃
	3	長谷川 長 松	S 17. 12. 26 ~ S 20. 9. 15	〃
	4	中島 福 治	S 21. 5. 16 ~ S 22. 8. 24	
	5	濁川 勇 蔵	S 22. 8. 25 ~ S 30. 5. 13	
	6	山谷 久 六	S 30. 5. 23 ~ S 36. 7. 7	
	7	星野 利 祐	S 36. 7. 8 ~ S 47. 4. 30	
	8	風間 三太郎	S 47. 5. 1 ~ S 54. 4. 1	
	9	吉岡 昭 和	S 54. 4. 2 ~ S 62. 4. 1	
	10	石田 英一郎	S 62. 4. 2 ~ H 62. 9. 3	
	11	岡村 寅 雄	S 62. 10. 1 ~ H 5. 3. 31	
	12	山岸 俊 夫	H 5. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	
	13	岩渕 賢 次	H 9. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	14	大平 和 芳	H 15. 4. 1 ~ H 19. 3. 31	
	15	金子 正 男	H 19. 4. 1 ~ H 23. 3. 31	
	16	本田 剛	H 23. 4. 1 ~ H 27. 3. 31	
	17	富井 正 志	H 27. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	
	18	間野 修	R 5. 4. 1 ~ 現在に至る	

3 消防団の編成

令和7.4.1 現在

市	区分	団 数	方面隊数	分 団 数	部 数
小千谷市		1	4	8	30

4 消防団員の数

令和7.4.1 現在

市	区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
小千谷市	定 員	1	3	21	22	57	190	456	750
	現 員	1	3	18	21	48	151	320	562
	うち女性			1	1	1	2	8	13

5 消防団員の階級別報酬

令和7.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
小千谷市		97,000	67,500	48,500	40,000	38,000	37,000	36,500

6 消防団員の出勤報酬・費用弁償

令和7.4.1 現在
(単位：円)

市	区分	出勤報酬※1			費用弁償※2
小千谷市	1 回 当 り の 出 勤 手 当	4時間以内	4時間を超え 8時間迄	以後、4時間ごとに 4,000円を加算	2,000
		4,000	8,000	8,000	

※1 水火災その他の災害又は警戒に出動した場合。

※2 会議・研修等に出席した場合。

7 消防車両・小型動力ポンプ配置一覧

令和7.4.1 現在

所 属 分団 部	配 置 先	車 両 種 別	車両登録 年 月	ポ ン プ メーカ	ポンプ 級 別	ポ ン プ 配置年月	
							1
	2 船岡	消防ポンプ自動車	H12. 7	モリタ	A-2	H12. 7	
	3 山本	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 11	
	4 上片貝	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11	
	5 打越	積載車	H25. 11	トーハツ	B-3	H25. 11	
	四ツ子(高畑)	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11	
	6 二俣	積載車	R 5. 10	シバウラ	B-3	R 5. 11	
2	1 土川	消防ポンプ自動車	H29. 11	日本機械工業	A-2	H29. 11	
	2 時水	積載車	H26. 9	トーハツ	B-3	H26. 10	
	3 千谷川	積載車	H13. 12	トーハツ	B-3	H13. 12	
	4 平沢	積載車	R 4. 12	トーハツ	B-3	R 4. 12	
	5 桜町	積載車	H28. 9	トーハツ	B-3	H28. 10	
	6 山谷	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H18. 9	ラビット	B-3	H18. 9	
3	1 東栄	消防ポンプ自動車	H30. 11	長野ポンプ	A-2	H30. 11	
		軽積載車Ⅱ型 ※1参照	H21. 10	シバウラ	B-3	H21. 10	
	2 禰生	積載車	H30. 11	トーハツ	B-3	H30. 11	
	3 木津	積載車	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 11	
4	1 千谷	積載車	H21. 10	トーハツ	B-3	H18. 9	
	2 小栗田	積載車	R 3. 11	シバウラ	B-3	R 3. 12	
	3 三仏生	積載車	H29. 11	シバウラ	B-3	H29. 11	
	4 五辺	消防ポンプ自動車	R 3. 2	日本機械工業	A-2	R 3. 2	
5	1 浦柄	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 11	
	2 岩間木	軽積載車Ⅰ型 ※2参照	H26. 2	ラビット	B-2	H26. 3	
6	1 千三	積載車	R 1. 11	シバウラ	B-3	R 1. 11	
	本村	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H16. 11	トーハツ	B-3	H 4. 12	
	2 芋時	積載車	R 3. 11	シバウラ	B-3	R 3. 12	
	3 塩殿	積載車	R 7. 2	トーハツ	B-3	R7. 3	
	4 池ヶ原	特装車	H12. 4	トーハツ	B-3	H12. 4	
	5 若栃	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H16. 11	トーハツ	B-3	H 6. 12	
7	1 川井新田	積載車	H25. 11	シバウラ	B-3	H25. 12	
	内ヶ巻	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H19. 9	シバウラ	B-3	H19. 10	
	冬井(戸屋・冬井・大崩)	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H15. 3	トーハツ	B-3	H 8. 2	
	2 桂	積載車	R 3. 3	トーハツ	B-3	R 3. 3	
	市ノ口	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H22. 11	トーハツ	B-3	H22. 11	
8	1 屋敷(一之町)	積載車	H24. 10	トーハツ	B-3	H24. 11	
	屋敷(二之町)	消防ポンプ自動車	R 2. 2	モリタ	A-2	R 2. 2	
	鴻巣	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H16. 2	トーハツ	B-3	H 8. 12	
	2 屋敷(三之町)	軽積載車Ⅱ型 ※1参照	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 11	
	池津	軽積載車Ⅰ型 ※1参照	H16. 2	トーハツ	B-3	H 2. 10	
合 計		ポンプ車	積載車	軽積Ⅰ	軽積Ⅱ		
		5	21	11	2		
団本部	消防本部	司令車		H18. 2	—	—	—
		指揮広報車		H26. 10	—	—	—

※1 I型はバンタイプ、II型は軽トラックタイプの積載車を示す。

※2 総務省消防庁無償貸与車両を示す。

8 消防団無線設備

デジタル無線陸上移動局

令和7.4.1 現在

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おちやしょうぼうだんしき 1	○	○	○	○	○	○	現場指揮本部	10	H25
おちやしょうぼうだん 1	○	○					団本部司令車	10	H25
おちやしょうぼうだん 11	○	○					1-1(上ノ山)	10	H25
おちやしょうぼうだん 12	○	○					1-2(船岡P)	10	H25
おちやしょうぼうだん 13	○	○					1-3(山本)	10	H25
おちやしょうぼうだん 14	○	○					1-4(上片貝)	10	H25
おちやしょうぼうだん 15	○	○					1-5(打越)	10	H25
おちやしょうぼうだん 16	○	○					1-5(高畑)	10	H25
おちやしょうぼうだん 17	○	○					1-6(二俣)	10	H25
おちやしょうぼうだん 21	○	○					2-1(土川P)	10	H25
おちやしょうぼうだん 22	○	○					2-2(時水)	10	H25
おちやしょうぼうだん 23	○	○					2-3(千谷川)	10	H25
おちやしょうぼうだん 24	○	○					2-4(平沢)	10	H25
おちやしょうぼうだん 25	○	○					2-5(桜町)	10	H25
おちやしょうぼうだん 26	○	○					2-6(山谷)	10	H25
おちやしょうぼうだん 31	○	○					3-1(東栄P)	10	H25
おちやしょうぼうだん 32	○	○					3-1(東栄)	10	H25
おちやしょうぼうだん 33	○	○					3-2(蕨生)	10	H25
おちやしょうぼうだん 34	○	○					3-3(木津)	10	H25
おちやしょうぼうだん 41	○	○					4-1(千谷)	10	H25
おちやしょうぼうだん 42	○	○					4-2(小栗田)	10	H25
おちやしょうぼうだん 43	○	○					4-3(三仏生)	10	H25
おちやしょうぼうだん 44	○	○					4-4(五辺P)	10	H25
おちやしょうぼうだん 51	○	○					5-1(浦柄)	10	H25
おちやしょうぼうだん 52	○	○					5-2(岩間木)	10	H25
おちやしょうぼうだん 61	○	○					6-1(干三)	10	H25
おちやしょうぼうだん 62	○	○					6-1(本村)	10	H25
おちやしょうぼうだん 63	○	○					6-2(芋時)	10	H25
おちやしょうぼうだん 64	○	○					6-3(塩殿)	10	H25
おちやしょうぼうだん 65	○	○					6-4(池ヶ原)	10	H25
おちやしょうぼうだん 67	○	○					6-5(若栃)	10	H25

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだん 71	○	○					7-1(川井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 72	○	○					7-1(内ヶ巻)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 73	○	○					7-1(冬井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 74	○	○					7-2(桂)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 75	○	○					7-2(市ノ口)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 81	○	○					8-1(片貝P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 82	○	○					8-1(片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 83	○	○					8-1(鴻巣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 84	○	○					8-2(片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 85	○	○					8-2(池津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 201	○	○					団長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 202	○	○					副団長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 203	○	○					副団長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 204	○	○					副団長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 205	○	○					西部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 206	○	○					東部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 207	○	○					南部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 208	○	○					北部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 209	○	○					本団員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 210	○	○					本団員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 211	○	○					本団員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 212	○	○					本団員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 213	○	○					本団員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 214	○	○					指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 215	○	○					指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 45	○	○					指令室管理	10	H25
おぢやしょうぼうだん 53	○	○					指令室管理	10	H25
おぢやしょうぼうだん 66	○	○					指揮広報車	10	H25

現場指揮簡易基地局	10W	1台
車載無線機	10W	43台
携帯無線機	5W	15台

9 消防器具置場等施設の数

令和7.4.1 現在

分 団	1	2	3	4	5	6	7	8	計
施 設									
消防器具置場	7	6	3	4	2	6	5	3	36
ホース乾燥柱	7	6	3	5	6	9	6	3	45
モーターサイレン	7	7	4	6	8	14	8	3	57

※1 消防器具置場欄は、活動拠点として車両保管に使用したものを計上する。

※2 モーターサイレン欄は、ホース乾燥柱及び集会所等に取り付けたものの合算を計上する。

10 令和6年度中の主な工事等の状況

工 事 名	数	場 所
防火水槽撤去工事	1件	真人中山
耐震性防火水槽設置工事	1件	元中子

11 消防団協力事業所数

16事業所（うち3事業所は、総務省消防庁認定）

令和7.4.1 現在

事 業 所 名	市 町 村	消防団員数	備 考
日本ベアリング 株式会社	小千谷市	9人	総務省消防庁認定
魚沼農業協同組合 小千谷地区	小千谷市	19人	総務省消防庁認定
ユキワ精工 株式会社	小千谷市	18人	総務省消防庁認定
株式会社 第一測範	小千谷市	12人	
阿部幸製菓 株式会社	小千谷市	3人	
理研精機 株式会社	小千谷市	9人	
株式会社 北越トラスト	小千谷市	2人	
秀和建設 株式会社	小千谷市	2人	
エヌ・エス・エス 株式会社	小千谷市	6人	
ケーエスエス 株式会社	小千谷市	8人	
エヌエスアドバンテック 株式会社	小千谷市	7人	
丸山建設 株式会社	小千谷市	1人	
オヂヤセイキ 株式会社	小千谷市	4人	
小杉土建工業 株式会社	小千谷市	2人	
株式会社 魚沼電子	小千谷市	2人	
有限会社 諏訪部鉄工所	小千谷市	2人	



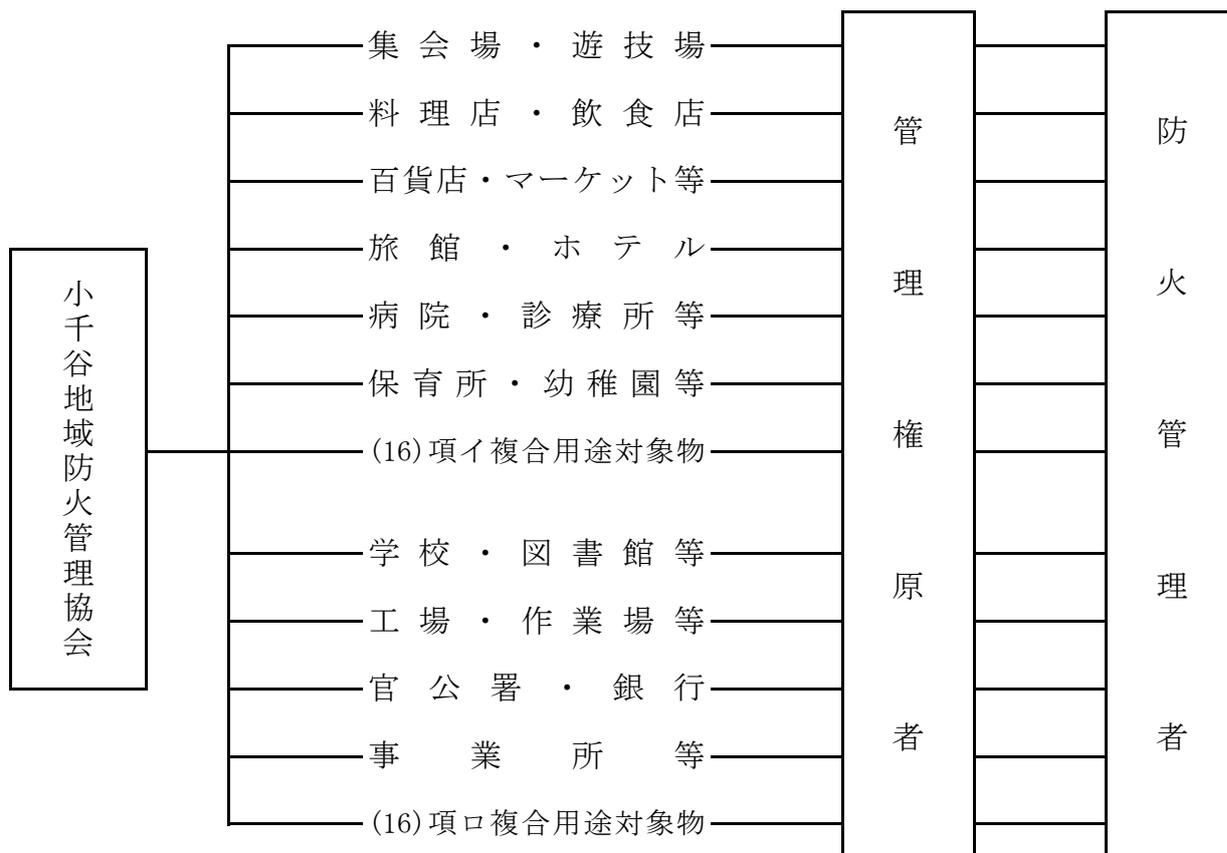
協力団体

1 小千谷地域防火管理協会

1 設 立

昭和40年 7月12日 ~ 昭和55年 3月31日 小千谷市防火管理協会
 昭和55年 4月 1日 ~ 現在に至る 小千谷地域防火管理協会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 消防機関と自衛消防隊との連携に関する事。
- (2) 関係法令等の周知徹底に関する事。
- (3) 防火思想の普及高揚に関する事。
- (4) 火災原因等防火情報の交換に関する事。
- (5) 消防訓練及び講習に関する事。
- (6) 防火管理者の教育に関する事。
- (7) 消防計画の研究に関する事。
- (8) 消防功労者の表彰に関する事。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

4 会員数

172事業所

(令和7年4月1日現在)

2 新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

1 設 立

昭和35年 6月 6日 ~ 平成18年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会北魚沼地区支会

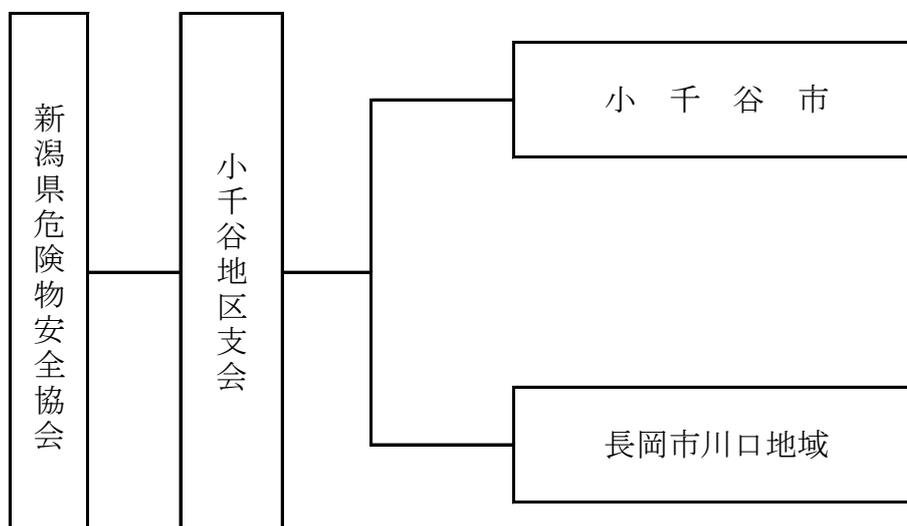
平成18年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

平成25年 4月 1日 ~ 現在に至る

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 危険物の災害予防思想の普及徹底に関すること。
- (2) 危険物の安全な取扱い及び維持管理の研究に関すること。
- (3) 危険物の取扱いに関する各種講習会の実施に関すること。
- (4) 機関誌及び資料の発行に関すること。
- (5) 優良会員等の表彰に関すること。
- (6) その他目標達成に必要な事項

4 会員数

66事業所

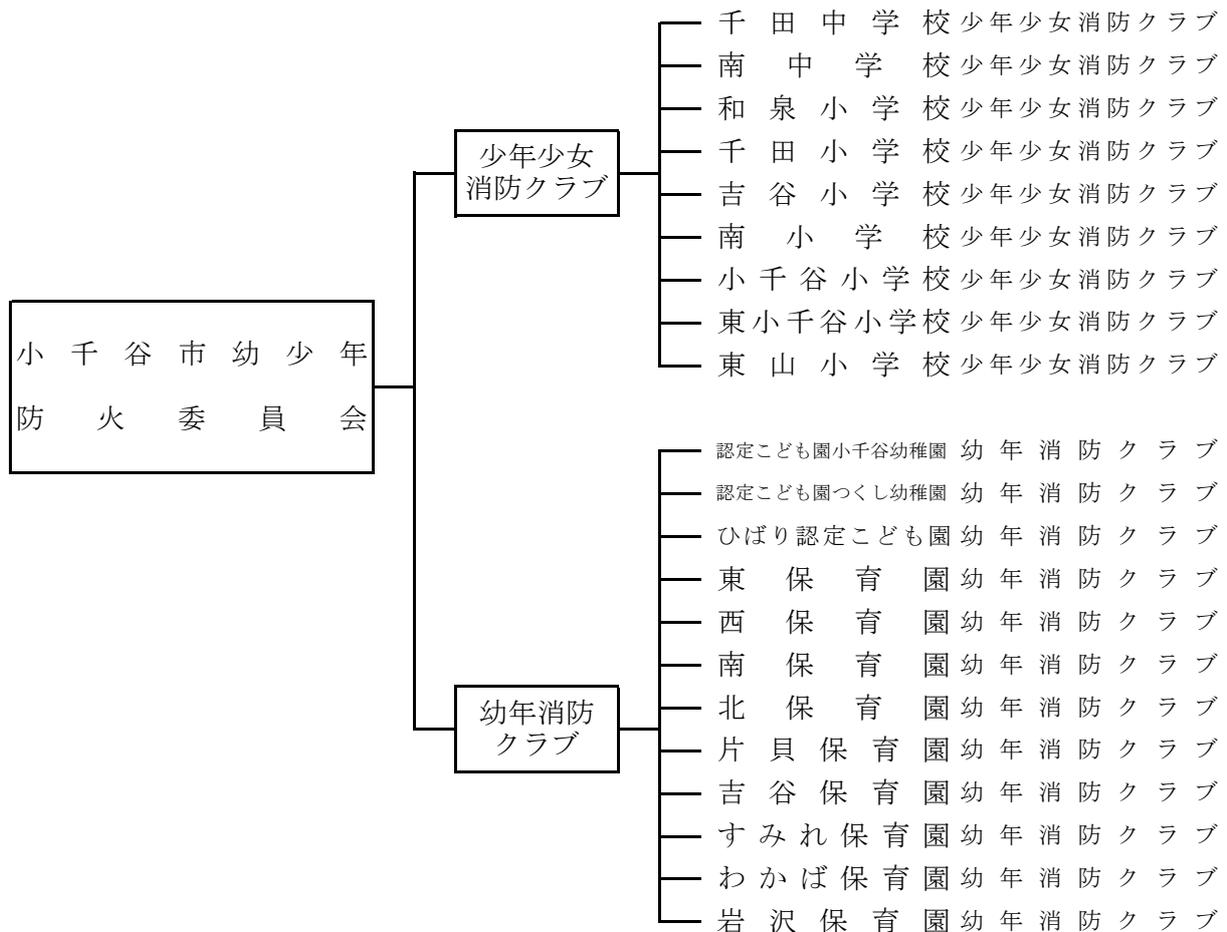
(令和7年4月1日現在)

3 小千谷市幼少年防火委員会

1 経 過

昭和56年	10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年	7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年	5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年	5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年	9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成22年	8月4日	会則を一部改正し、小千谷市幼少年防火委員会に組織を変更
平成25年	4月1日	岩沢小学校、真人小学校、川井小学校、塩殿小学校が南小学校に統廃合される
令和3年	3月31日	高梨保育園 閉園
令和4年	3月31日	真人保育園 閉園

2 組織・機構



3 主たる事業

- ・ 小千谷市幼少年防火委員会
 - ア 防火防災知識の普及徹底
 - イ 防火防災のための研修及び訓練
 - ウ 各クラブ等関係組織相互間の連絡・調整
 - エ 事業所研修
 - オ わくわく消防教室
 - カ おもちゃ花火教室
 - キ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市幼年消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数

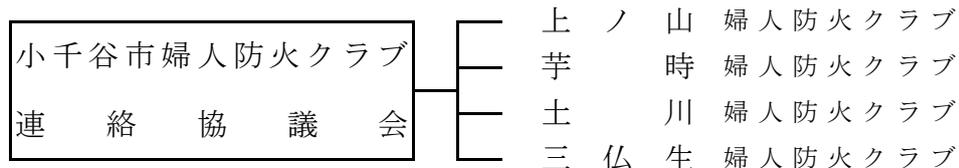
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ 1, 256名
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ 496名 (令和7年4月1日現在)

4 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会

1 経 過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成21年4月1日	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会設立
平成22年8月4日	会則の一部改正
令和4年3月31日	干三及び石名坂婦人防火クラブが退会し5クラブとなる
令和6年3月31日	本村婦人防火クラブが退会し4クラブとなる

2 組織・機構



3 主たる事業

- ア クラブの運営指導の研究に関する事項
- イ クラブの育成指導に関する事項
- ウ クラブの情報交換に関する事項
- エ クラブ等の未設置区域の解消及び組織の拡大・強化
- オ 外部との連絡に関する事項
- カ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数

小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会 73名 (令和7年4月1日現在)

消 防 年 報

(令和6年版)

発行 新潟県小千谷市消防本部

〒947-0028

新潟県小千谷市城内3丁目1番9号

TEL (0258) 81-0119

FAX (0258) 82-0209